

第38回秋田県優良工事表彰 第3回秋田県優良業務表彰



平成29年9月
秋 田 県

表紙：第38回秋田県優良工事表彰から

左上：大館地区統合高校（仮称） 体育館棟建築工事

右上：地方街路交付金工事 27-SB74-10

中央：太郎ヶ台線（1工区） 流域育成林整備工事 RE1201A001

左下：田ノ植地区 農地集積加速化基盤整備工事 06702-K01

右下：河川災害関連工事 KF12-30

第38回秋田県優良工事表彰式 第3回秋田県優良業務表彰式

とき 平成29年9月6日(水)

午後3時～5時

ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開 式 の こ と ば
2. 式 辞 知 事
3. 来 賓 祝 辞 県 議 会 議 長
4. 審 査 報 告 建設部建設技監
5. 表彰状授与(工事) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受 賞 者 代 表
7. 表彰状授与(業務) 知 事
8. 受賞者謝辞(業務) 受 賞 者 代 表
9. 閉 式 の こ と ば



第38回秋田県優良工事表彰から
秋田地区中高一貫教育校（仮称）中学校体育館棟建築工事

目 次

・ お祝いの言葉	2
・ 第38回秋田県優良工事表彰及び 第3回秋田県優良業務表彰について	3
・ 第38回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	39
・ 秋田県優良工事表彰要綱	40
・ 第3回秋田県優良業務表彰業務一覧表	41
・ 表彰業務の概要	42
・ 秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿	54
・ 秋田県優良業務表彰要綱	55



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

第38回秋田県優良工事表彰及び第3回秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で38回目を迎えました。今回受賞された33件は、対象となる1,659件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成された工事であります。

また、優良業務表彰制度については、県内建設業の測量や調査・設計を行う技術者の育成・確保を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度が第3回目の表彰となります。今回受賞された12件は、856件の対象業務の中から選定され、いずれも、豊富な経験と優れた識見により完了した業務であります。

建設業は、生活や経済・産業活動を支える社会資本整備の担い手として、また、県民の安全・安心な暮らしを守る基幹産業として、重要な役割を担っております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、新技術・新工法導入等による活動領域の拡大に向けた支援等とともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営に向け、若者や女性などの建設産業の担い手確保を促進してまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、社会資本整備の担い手として、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。

第38回秋田県優良工事表彰及び第3回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事・優良業務表彰幹事長
秋田県 建設部 建設技監
小川 智弘

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。平成20年度からは、小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を創設しております。

今回は、平成28年度に完成した工事の中から、33件の工事を優良工事として表彰するものです。施工者の内訳は26社、7共同企業体となっており、このうち、2社が10回目の受賞、1社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

また、平成27年度からは、県内建設業の測量や調査・設計を行う技術者の育成・確保を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰が創設されました。

こちらは、平成28年度に完了した業務の中から、12件の業務を優良業務として表彰するものであり、専門技術力や品質管理能力、施工時への配慮等において特に優れていると評価されたものであり、他の模範となる業務であります。

今回の優良工事表彰及び優良業務表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第38回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工 事 名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	3	地方街路交付金工事 SB10-20	鹿角市 花輪	株式会社村木組	村木 通良	鹿角地域振興局
2	9	地方道路交付金工事(改築) 28-HF14-20	鹿角市 十和田末広	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
3	1	蛭沢A地区 復旧治山工事 RB1101A811	大館市 岩瀬	株式会社石戸谷建設	石戸谷 伸	北秋田地域振興局
4	12	地方道路交付金工事(改築) 27-HF27-70	北秋田市 坊沢	株式会社佐藤庫組	佐藤 昌郁	北秋田地域振興局
5	花岡 7 伊藤羽州 5 丸山 2 平和 5	大館地区統合高校(仮称) 体育館棟建築工事	大館市 片山町	花岡・伊藤羽州・ 丸山・平和特定建設 工事共同企業体	鈴木 洸士	教育庁
6	10 今 回 特別表彰	地方道路交付金工事(改築) 28-HF35-20	能代市 二ツ井町 荷上場	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
7	6	県単河川改良工事 (自然災害防止債) 27-K201-10	三種町 川尻	小玉建設株式会社	小玉 茂隆	山本地域振興局
8	沢木組 8 加藤組 4	能代港第2灰捨護岸建設工事 27-Z102-K2	能代市 河戸川	(株)沢木組・(株)加 藤組特定建設工事 共同企業体	沢木 則明	能代港湾事務所
9	伊藤栄 0 高橋秋和 0	能代港第2灰捨護岸建設工事 27-Z102-K3	能代市 河戸川	伊藤栄・高橋秋和特 定建設工事共同企 業体	伊藤 久	能代港湾事務所
10	3	畠漁港地区 水産物供給基盤 整備工事 10728-K01	男鹿市 北浦入道崎	株式会社清水組	清水 重輝	秋田地域振興局
11	沢木組 8 東光鉄工 0	地方街路交付金工事 26-SB40-N1	秋田市 千秋城下町	(株)沢木組・東光鉄 工(株)特定建設工 事共同企業体	沢木 則明	秋田地域振興局
12	4	地方道路交付金工事 (舗装補修) 28-FI44-70	秋田市 手形山	秋田舗道株式会社	青池 宏志	秋田地域振興局
13	9	県単道路総合防災対策工事 27-G914-30	秋田市 河辺赤平	株式会社菅与組	畠山 順太郎	秋田地域振興局
14	加藤建設 5 沢木組 8	地方道路交付金工事 (橋梁補修) 27-FI54-30	秋田市 卸町	加藤建設・沢木組特 定建設工事共同企 業体	加藤 正己	秋田地域振興局
15	宮原組 10 沢木組 8	急傾斜地崩壊対策工事 27-LI41-10	男鹿市 船川港女川	宮原組・沢木組特 定建設工事共同企 業体	宮原 竜也	秋田地域振興局
16	8	重要港湾改修工事 28-PA10-10	秋田市 飯島	株式会社沢木組	沢木 則明	秋田港湾事務所
17	5 今 回 特別表彰	秋田県(金浦漁場) 水産環境整備工事 33327-K21	にかほ市 金浦	村岡建設工業株式 会社	村岡 兼幸	由利地域振興局

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第38回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工 事 名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
18	4	太郎ヶ台線(1工区) 流域育成林整備工事 RE1201A001	にかほ市 伊勢居地	コマツ建設株式会 社	小松 功	由利地域振興局
19	2	海岸防災対策工事 28-MR32-10	にかほ市 芹田	齋藤建設株式会社	齋藤 朝昭	由利地域振興局
20	3	大神成地区 農地集積加速化基盤整備工事 06402-K01	大仙市 大神成	高三建設株式会社	高橋 篤美	仙北地域振興局
21	10 今 回 特別表彰	山谷地区 農地集積加速化基盤整備工事 05703-K04	大仙市 協和中淀川	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北地域振興局
22	7	火山砂防工事 LC60-20	仙北市 田沢湖田沢	佐藤建設株式会社	田村 保	仙北地域振興局
23	3	河川災害関連工事 KF12-30	大仙市 太田町斉内	株式会社佐藤建設	佐藤 吉博	仙北地域振興局
24	1	河川災害関連工事 KF12-40	大仙市 太田町斉内	寺田建設株式会社	寺田 文夫	仙北地域振興局
25	11	河川災害関連工事 KF12-50	大仙市 太田町斉内	秋田振興建設株式 会社	小原 将司郎	仙北地域振興局
26	3	河川災害関連工事 KF12-10	大仙市 太田町斉内	大和建設株式会社	大和 大介	仙北地域振興局
27	7	田ノ植地区 農地集積加速化基盤整備工事 06702-K01	横手市 平鹿町	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
28	2	地方街路交付金工事 27-SB74-10	横手市 幸町	株式会社村岡組	村岡 洋平	平鹿地域振興局
29	4	県単河川改良工事 (自然災害防止債) 28-K414-10	横手市 黒川	三又建設株式会社	下夕村 正樹	平鹿地域振興局
30	4	藤倉地区 緊急予防治山工事 RH1102A810	湯沢市 皆瀬	株式会社佐藤建設	佐藤 清次	雄勝地域振興局
31	1	地方道路交付金工事 (交通安全) FI84-10	羽後町 西馬音内	株式会社小野建設	小野 雅敏	雄勝地域振興局
32	8	地方道路等整備工事(建設) I480-10	東成瀬村 榑川	株式会社和賀組	和賀 幸雄	雄勝地域振興局
33	三菱 0 長谷駒 1 三和 1 千代田 0	秋田地区中高一貫教育校(仮 称)中学校体育館棟建築工事	秋田市 仁井田緑町	三菱・長谷駒・三 和・千代田特定建 設工事共同企業体	越村 正己	教育庁

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

1 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方街路交付金工事 SB10-20		
路河川名/地区名	3・4・9号久保田古館線	施工地名	鹿角市花輪
商号又は名称	株式会社村木組	許可番号	05-014040
請 負 額	88,522,200 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村木 通良		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 康孝		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	金澤 和春	監 督 員	清水 英晶
工 期	平成27年10月16日～ 平成28年11月18日	完成年月日	平成28年11月14日
概 要	1) 施工延長 L=272.6m、道路土工 N=1式、排水構造物工 L=374m 2) 舗装工(車道) A=970㎡・(歩道) A=747㎡、無散水消雪 A=417㎡		
特 徴	1) 交通量の多い市街地中心部の現道拡幅工事 2) 関連工事及び別途発注工事との工程・施工調整		
写 真			
<div><div></div><div></div></div>			
着手前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は市街地中心部における現道拡幅工事であり、周囲には公共施設があり交通量も多く、施工にあたっては道路交通への配慮が特に必要とされたため、施工期間中は通行車両及び作業員の安全確保の徹底に努めたことにより、住民からの苦情やトラブルもなく工事を完成させることができた
- ・また、当現場は「花輪ばやし・花輪ねぶた」の運行ルートとなっていることから、祭典までに車道を完成させる必要があったため、関連工事（上下水道・NTT・東北電力）及び別途発注工事との調整を密に行い、各行事の運営に支障を与えることなく工事を完成させることができた

◆施工業者からのPR

- ・当現場は市街地中心部に位置し、周囲には公共施設や商店街があるため交通量が多く、どのように一般車両通行幅員を確保し、安全に通行させられるかに注意した
- ・隣接工事の現場担当者と協議し、起点右側歩道部と拡幅部1層目まで施工終了後、車線中央をバリケードにて囲い、車線を仮に3車線とし作業を中央車線にて行うことにした結果、長期に片側交互通行等の規制することなく作業ヤードの確保ができ安全な作業ができた

2 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 28-HF14-20		
路河川名/地区名	国道103号	施工地名	鹿角市十和田末広
商号又は名称	株式会社柳沢建設		許可番号 05-001843
請 負 額	74,634,480 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 工藤 求		
監督実施公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	金澤 和春	監 督 員	小野寺 裕司
工 期	平成28年6月10日～ 平成28年12月16日	完成年月日	平成28年12月16日
概 要	1）施工延長 L=292m、W=6.5（12.0）m 2）表層工（車道）A=3,130㎡ 3）表層工（歩道）A=735㎡ 4）側溝工 L=273m 5）防護柵工 L=45m		
特 徴	1）工程管理の徹底 2）ジョイントフォーマー装着アスファルトフィニッシャーの使用による舗装の品質向上		
写 真			
<div><div></div><div></div><div></div></div>			
完成		舗装の品質向上	
		現場見学会の開催	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は国道103号葛原バイパスの舗装工事であり、バイパス開通予定日前の完成が必須の厳しい工程であったが、工程管理を徹底し無事故で余裕を持って完成させた
また、開通後の施工となった取付道路にあたっては、一般交通への配慮が特に必要となるなか、工程管理・安全対策に努め苦情やトラブルもなく工事を完成させた
- ・片側6mをこえる箇所にはアスファルトフィニッシャーを2台使用しホットジョイントとしたほか、ジョイントフォーマーを装着したことにより端部までスクリードで施工することができ、アスファルト混合物の温度低下を抑制し、舗装の品質向上に努めた
また、表層施工にあたりタイヤ付着防止乳剤を使用し、ダンプトラック、アスファルトフィニッシャーのタイヤ付着による乳剤剥がれをなくし、舗装の密着性確保に努めた
- ・地元高校、小学校などを対象に現場見学会を開催したり、自主的に看板を作成・設置するなど葛原バイパスの開通を対外的にPRした

◆施工業者からのPR

- ・乳剤散布において工区内の完成箇所、隣接工区、現道への影響や剥がれ防止として、散布量の維持による舗装の密着化を図り、タイヤ付着防止乳剤を使用し完成後の見栄え、品質向上に努めました
- ・公共工事・建設業に興味を持って頂くため、地元高校の現場見学会・小学校の職場体験学習を地域への貢献となるよう交流し、積極的に取り組みました
- ・開通を控えバイパス切り替えがスムーズに行われるよう、創意工夫し開通予告看板、案内看板等をオリジナルで作成し、早期に設置することで通行車両へのアピールに努めました

3 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	蛭沢 A 地区 復旧治山工事 RB1101A811		
路河川名/地区名	蛭沢 A 地区	施工地名	大館市岩瀬
商号又は名称	株式会社石戸谷建設		許可番号 05-001006
請 負 額	48,348,360 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 石戸谷 伸		
監理技術者等	現場代理人 一関 英俊		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	浅利 聡	監 督 員	小笠原 寿
工 期	平成28年3月28日～ 平成29年1月16日	完成年月日	平成28年12月19日
概 要	1) 治山ダム工 N=2基 NO.1コンクリート床固工 L=36.5m、H=4.5m、b=1.5m、V=360.8m ³ NO.2コンクリート床固工 L=34.5m、H=5.0m、b=1.5m、V=291.7m ³		
特 徴	1) 工期短縮のための施工方法の提案、実施 2) 周辺への環境配慮及び労働災害防止のための取り組み		
写 真			
<div><div><p>被災時</p></div><div><p>着手前</p></div><div><p>完成</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・平成25年8月に発生した豪雨により山腹崩壊が原因の土石流が発生した現場であり、下流の蛭沢集落及び県道等の災害を防止するため、治山ダム工を建設する工事である
- ・ダム間が近接し同時施工が難しかったが、NETIS登録の工法を提案し工期に余裕をもって完成させた
- ・沢の流末にあった農業用水路の確保を行うなど地域の生活に配慮した対策がなされたほか、水替工を徹底し掘削作業により発生する土砂類の流出や地山崩落が発生しないよう努めた

◆施工業者からのPR

- ・不安定土砂が多量に堆積しているため、床堀・コンクリート打設・埋戻し前まで地山崩落による災害が発生しないよう水替工の工夫を図りました
- ・夏場のコンクリート打設であったため、打設後の湿潤養生期間においても温度管理を徹底し品質向上に務めました
- ・水替えの際は、発電機からの油流出による周辺環境の悪化を防止するため、オイルガード付きの発電機を使用し、油吸着マット及び油処理剤を常備して非常時に備えました

4 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 27-HF27-70		
路河川名/地区名	（一）大館能代空港西線（鷹巣西道路）	施工地名	北秋田市坊沢
商号又は名称	株式会社佐藤庫組	許可番号	05-006597
請 負 額	97,274,520 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 昌郁		
監理技術者等	現場代理人 簾内 哲哉		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐藤 勝一	監 督 員	目黒 誠
工 期	平成28年7月1日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1）函渠工 N=1式（B=4.5m、H=4.1m、L=43.96m）		
特 徴	1）高規格道路の下を横断するコンクリート構造物 2）供用中の道路や隣接他工区に配慮した施工計画や安全管理を要する		
写 真			
<div></div> <div></div> <div></div>			
着手前			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・コンクリートの打設にあたって、現場到着時のコンクリートの状態についてプラントとの連絡を密に行い、品質の向上に努めた
- ・コンクリート締固め時の目安として、バイブレータや型枠に目印を付けて均一な仕上がりとなるよう工夫を行った
- ・複数工区が隣接するなか、ドローン機器を活用し地区全体を把握することで施工計画や安全管理に役立てた

◆施工業者からのPR

- ・コンクリートの収縮ひび割れの発生を抑制させるため、打設の工夫及び脱型後表面養生剤を散布する等を行った結果、現在においてもひび割れが無い事が確認された
- ・高校生の現場見学や官民合同パトロール等を積極的に受け入れ、鷹巣西道路の重要性や土木工事の様子についてアピールできた
- ・ドローン機器で撮影した全体写真は図面よりイメージしやすいと、現場見学や安全教育時に好評であった

5 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事



◆工事概要			
工 事 名	大館地区統合高校（仮称） 体育館棟建築工事		
路河川名/地区名	—	施工地名	大館市片山町
商号又は名称	花岡・伊藤羽州・丸山・平和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	1,426,088,160 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	花岡土建株式会社 代表取締役 鈴木 泚士		
許可番号	05-002129	監理技術者等	現場代理人 阿部 智之
(構 成 員)	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
(許可番号)	05-020143	(監理技術者等)	監理技術者 日景 義点
(構 成 員)	丸山建設株式会社 代表取締役 丸山 佳孝		
(許可番号)	05-000438	(監理技術者等)	監理技術者 野呂 輝憲
(構 成 員)	平和建設株式会社 代表取締役 菊地 建一		
(許可番号)	05-001945	(監理技術者等)	監理技術者 成田 弘樹
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小笠原 勝則	監 督 員	佐藤 明
工 期	平成27年3月18日～ 平成28年6月24日	完成年月日	平成28年6月24日
概 要	1) 第1アリーナ 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て (延べ面積 A=2,639.97㎡) 2) 第2アリーナ 鉄筋コンクリート造一部木造2階建て (延べ面積 A=1,993.32㎡)		
特 徴	1) 各アリーナ小屋組に鉄骨トラスや木造大断面集成材を併用した複合構造建築物 2) 錯綜する複数の関連工事があるなかでの建築工事		
写 真			
			
体育館外観		第1アリーナ	
			
		トレーニングルーム	

◆監督実施公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要構造部は鉄筋コンクリート造で、鉄骨小屋組や木造大断面集成材小屋組、P C 梁を組み合わせた複合構造の建築物である ・ 複数工区同時施工のなか、綿密な施工計画や工程管理を要した ・ 工事期間後半は教室棟が供用開始された状況下での工事であり、敷地や作業時間に制約があるなか、安全対策や品質管理を適正に行い、完成建築物は優れた出来映えとなった

◆施工業者からのP R
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1アリーナにおける生研トラス工法の鉄骨組立、第2アリーナにおける大断面集成材工事のL＝34mの梁材吊り上げ作業等、ともに200tクレーンを使用し広範囲な作業半径のなか、各作業手順の確認や安全に十分配慮した作業を実施し、工事完了する事ができました ・ 母屋鉄骨材・壁面杉板材等の塗装仕上を事前に完了させる等、工期短縮を実現するための工夫をしました ・ 厳しい工期のなか、発注機関、工事監理をはじめ工事関係者各位様のご協力により全工期無事故・無災害で無事完成する事ができました

6 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 28-HF35-20		
路河川名/地区名	（一）西目屋二ツ井線	施工地名	能代市二ツ井町荷上場
商号又は名称	大森建設株式会社		許可番号 05-081607
請 負 額	74,885,040 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 池田 正広		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	柿崎 誠治	監 督 員	加納 義之
工 期	平成28年9月8日～ 平成29年3月21日	完成年月日	平成29年3月21日
概 要	1）荷上場2号橋(仮称) A 1橋台躯体工 N=1基(H=12.7m) 2）場所打ち杭工(φ1200,L=13.0m) N=12本		
特 徴	1）斜橋、添架管箱抜きなど複雑な構造である、長大橋の橋台工事 2）直轄管理河川区間であり工期に制約がある工事		
写 真			
<div></div>			
完成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・鉄筋は室内工場で加工し現場搬入時には錆止め剤を塗布し、組立用結束線にはメッキ加工品を使用した結果、コンクリート打設前に目立った錆が確認されなかった
- ・現場代理人及び監督員による生コン工場への立会検査、コンクリート打設時の細部にわたる入念な締固め及び型枠接合部の処理などを実施したことにより非常に良い出来栄となった
- ・会社独自の安全教育、表彰制度を設けることにより、無事故で工期内に完成させた
- ・地元の祭りでは会場作りなどの協力を行い、地域住民と円満な関係を築きながら工事を完成させた

◆施工業者からのPR

- ・トータル建設コストが注目されるなか、維持管理等のライフサイクルコスト低減や長寿命化達成のため、打継ぎ目処理やコンクリートの品質にこだわり、良質な出来栄を追求しました
- ・コンセンサスの取り組みとして、事業説明会を開催したほか、関係する各家庭に直接訪問して工事資料を配布し、工事への理解と協力を得られるようコミュニケーションを図りました
- ・工事は、狭い市道を共用しての施工であり、道路の拡幅や誘導員の配置をして交通規制を行いながら施工した結果、発注者と地域住民の協力のもと、無事故で苦情などのトラブルも無く、安全な運搬路を確保して工事を完成することができました

7 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良工事（自然災害防止債） 27-K201-10		
路河川名/地区名	三種川	施工地名	三種町川尻
商号又は名称	小玉建設株式会社		許可番号 05-001306
請 負 額	59,391,360 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小玉 茂隆		
監理技術者等	現場代理人 高橋 博光		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	佐々木 浩喜	監 督 員	藤枝 雅利
工 期	平成27年8月27日～ 平成28年4月22日	完成年月日	平成28年4月22日
概 要	1) 矢板護岸工 N=218枚 2) 法覆護岸工 A=224㎡		
特 徴	1) 作業範囲が狭く、工事用道路や鋼矢板打込機械を工夫 2) 近隣の民家に配慮し、建物保護等を行った		
写 真			
<div></div> <div>完成</div> <div>鋼矢板打込</div> <div>ガラス窓の保護</div>			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・河川堤防上で作業幅が狭く民家が近接している現場条件で、施工方法等を創意・工夫して困難を克服し、出来形、品質、出来映えに優れた工事を完成させたことが高く評価できる
- ・近隣住民を個別に訪問して工事概要を説明し理解を得ていることや、建物を保護する等、住民対策を計画的に実施し、円滑に工事を進めたことが高く評価できる

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、河川堤防上で作業幅が狭く建屋と接しており、限られた範囲のなかで工事を行うために施工機械の選定や仮設計画の工夫を行った
- ・工事にあたって、地域住民へ工事だよりを配布したほか、工事区間の住民には個別に現地説明を行い、関係を良好に保つ事で工事を円滑に進める事ができた
- ・今後とも地域住民とのコミュニケーションを大切にし、建設工事への理解と協力が得られるよう努めて参ります

8 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設工事 27-Z102-K2		
路河川名/地区名	能代港外港地区	施工地名	能代市河戸川
商号又は名称	(株) 沢木組・(株) 加藤組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	464,900,040 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 杉本 健彦
(構 成 員)	株式会社加藤組 代表取締役 加藤 義光		
(許可番号)	05-040733	(監理技術者等)	主任技術者 小野 俊剛
監督実施公所	能代港湾事務所（建設部）		
主任監督員	小野 伸太郎	監 督 員	天野 徹
工 期	平成28年3月11日～ 平成28年11月30日	完成年月日	平成28年11月7日
概 要	1) 施工延長 L=176.7m 2) 基礎捨石 V=12,929m ³ 3) 被覆ブロック据付 N=483個 4) 上部ブロック N=140個		
特 徴	1) 外港部に新たに築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける工事		
写 真			
<div></div>			
完成			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・外海に面した護岸を築造するものであり、気象により作業効率や現場条件が変化する難易度の高い海上工事である
- ・さらに、今回の工事においては冬季風浪等による海底地盤線の変動がみられ、設計変更が必要となった
- ・そのような条件下で、作業の効率化や新技術の採用等により、期限内に工事を完成させるとともに、出来形や品質も高度な管理を確保しており、他の工事の模範となるものであった

◆施工業者からのPR

- ・ともに波浪の影響を受ける現場のため、その対策として、アスファルトマットの滑動防止、捨石荒均し方法や施工順序の工夫、敷鉄板による養生等で波浪による被害を防止できました
- ・新技術の型枠ブロックの施工で、独自の施工方法の工夫により工程を半分に短縮する事ができました
- ・水中部の出来映えを、水中ビデオカメラに録画したものを検査員に見てもらい、評価してもらう事ができました

9 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	能代港第2灰捨護岸建設工事 27-Z102-K3		
路河川名/地区名	能代港外港地区	施工地名	能代市河戸川
商号又は名称	伊藤栄・高橋秋和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	485,677,080 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	伊藤栄建設株式会社 代表取締役 伊藤 久		
許可番号	05-000807	監理技術者等	現場代理人 伊勢 均
(構 成 員)	高橋秋和建設株式会社 代表取締役 堀江 拓成		
(許可番号)	00-022980	(監理技術者等)	主任技術者 本間 光哉
監督実施公所	能代港湾事務所（建設部）		
主任監督員	小野 伸太郎	監 督 員	天野 徹
工 期	平成28年3月11日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 施工延長 L=250m 2) 基礎捨石 V=12,930m ³ 3) 被覆ブロック据付 N=564個 4) 上部ブロック N=204個		
特 徴	1) 外港部に新たに築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける工事		
写 真			
			
着手前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・海上作業と陸上作業が混在する工事であり、気象による作業効率や現場条件の変化への対応、多様な工種のマネジメントが必要となる難易度の高い工事である
- ・さらに今回の工事においては、冬季風浪等による海底地盤線の変動に起因する設計の変更や埋設物への対応、次年度工事を考慮した工事等が必要となった
- ・そのような条件下で、作業の効率化等により期限内に工事を完成させるとともに、出来形や品質も高度な管理を確保しており、他の工事の模範となるものであった

◆施工業者からのPR

- ・基礎捨石工の天端荒均し部分を、熟練の潜土工とレーザーレベルを使用して本均しに近い精度で施工し、全面に凹凸無く鉄板280枚を敷設した結果、時化による自然災害を防ぎ、他工種の重機、トラック、生コン車等の通行が安全に効率良くでき工期短縮になりました
- ・上部エブロック据付は基準高、法線のズレを1個ずつ入念にチェックし規格値の50%以内で行いました
また、全工種延べ26回社内検査を行い、社内規格値を全て高精度でクリアしました

10 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	畠漁港地区 水産物供給基盤整備工事 10728-K01		
路河川名/地区名	畠漁港地区	施工地名	男鹿市北浦入道崎
商号又は名称	株式会社清水組		許可番号 00-011421
請 負 額	54,302,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 清水 重輝		
監理技術者等	現場代理人 小野 秀春		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	加藤 武	監 督 員	山本 一貴
工 期	平成28年6月10日～ 平成28年11月30日	完成年月日	平成28年10月5日
概 要	1) 東防波堤（改良）消波工 L=8.5m 2) 消波ブロック60t製作 N=45個 3) 消波ブロック60t据付 N=44個		
特 徴	1) 60t型消波ブロックの製作・据付工事 2) 漁船の航行があるため、漁業者との調整及び工程管理が必要		
写 真			
			
消波ブロック据付状況		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、漁港の静穏度確保のため、東防波堤へ消波工を設置する工事である
- ・製作工事においては、夏期打設したコンクリートの養生を適切に行い品質確保の向上に努め、また、複雑な構造である消波ブロックの形状に対応した打設方法を作業足場の安全管理と併せて工夫し、品質・出来映えは良好である
- ・据付工事においては、漁業活動に支障とならないように作業時間の限られたなかで、現場状況に対応した地元調整及び工程管理を行い工事を完成させたことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・10月に入ると季節風の影響により据付工が困難になると想定されたため、型枠貸出組数を標準の4組から8組に、労務・重機も増員して製作工を8月上旬に生コン打設を完了し、材齢28日を経て据付工を9月中旬に完了させる計画で施工しました
- ・また、入出港が多い6～9時を避け10時以降に据付工を行う等の漁業者に配慮した工程により、スムーズかつ安全に施工を終え、完成時には漁業者からねぎらいの言葉もいただきました

1 1 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方街路交付金工事 26-SB40-N1		
路河川名/地区名	千秋広面線	施工地名	秋田市千秋城下町
商号又は名称	(株) 沢木組・東光鉄工 (株) 特定建設工事共同企業体		
請 負 額	404,124,120 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級・鋼構造物 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許可番号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 山口 保成
(構 成 員)	東光鉄工株式会社 代表取締役 虻川 東雄		
(許可番号)	00-018122	(監理技術者等)	主任技術者 篠田 清幸
監督実施公所	秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	山田 豊	監 督 員	菊地 憲裕
工 期	平成27年1月13日～ 平成28年5月31日	完成年月日	平成28年5月27日
概 要	1) 床版撤去工 N=1式 2) 床版設置工 A=1,744㎡ 3) 鋼桁補強工 N=1式 4) 支承取替工 N=28基 5) 落橋防止設置工(チェーン) N=1組、(P Cケーブル) N=32組 6) しゃ音壁設置工 L=138m		
特 徴	1) 桁を上部に継ぎ足しウェブを高くすることで桁の剛性を高める工法(嵩上げし高くなった分は支承部を切かき桁を下げるジャッキダウン工法) 2) 市街地内における陸橋の既設床版の取り壊し工		
写 真			
<div></div>			
完成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ジャッキアップ工法による床版取壊しを行い、床版切断、はつりの削減による騒音振動対策を実施
- ・断面積の大きい地覆部の取壊しにあたり、騒音対策、安全対策のため、ワイヤーソーイング工法を採用
- ・溶接作業において、溶接を半自動溶接による施工とし、作業員の身体への負担軽減と工程短縮に努めた
- ・供用中の道路脇での作業のため、クレーン作業に制約があったが、自ら交通規制協議を行い、夜間作業の片側交互通行による桁等の設置を可能にしたことで、作業工程を約1ヶ月短縮させ、冬季前に床版コンクリート打設を完了させた
- ・手形陸橋全体工事の作業工程、施工性、コストダウン等を考慮し、伸縮装置の技術提案を行ったことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・中心市街地という社会的条件から、騒音対策として既設床版の撤去にあたりジャッキアップ工法、ワイヤーソーイングの使用等、騒音を最小限に抑えるための最善の対策工法を取り入れた
- ・地元町内会長と密接な連絡をとり、積極的に要望等への対応を行うとともに、関連業者で安全協議会を立ち上げ、安全協議会会長として地域への貢献を行った

12 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（舗装補修） 28-F144-70		
路河川名/地区名	（主）秋田昭和線	施工地名	秋田市手形山
商号又は名称	秋田舗道株式会社	許可番号	05-001796
請 負 額	29,100,600 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役社長 青池 宏志		
監理技術者等	現場代理人 齋藤 泰徳		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	石川 康樹	監 督 員	三浦 博満
工 期	平成28年7月8日～ 平成28年11月11日	完成年月日	平成28年11月11日
概 要	1）施行延長 L=369.4m 2）路面切削工 A=4,370㎡ 3）アスファルトクラック処理 A=1,360㎡ 4）表層 A=5,050㎡		
特 徴	1）品質確保のための取組 2）夜間工事での安全対策の工夫		
写 真			
<div></div> <div></div> <div></div>			
<div>完成</div> <div>自動センサー</div> <div>バルーン搭載</div>			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は主要地方道秋田昭和線の舗装劣化に伴う舗装補修工事である
- ・交通量が多いため夜間工事としているなか、出来形、品質ともに優れた施工を行った
- ・速分解型のタックコート用乳剤を使用したことにより、タイヤへの付着が少なく路面等を汚さないため、環境にやさしいだけでなく、舗装の耐久性も高めた
- また、アスファルトフィニッシャーに舗設高さの自動センサーを取り付け、施工ジョイントでの舗設高さ管理を自動制御させ、施工ジョイントが段差にならないよう工夫している
- ・夜間施工のため、アスファルトフィニッシャーにバルーンを搭載し、フィニッシャー周りの視認性の悪さを改善したことで安全管理を徹底させることができ、円滑に工事を進捗させたことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・道路に埋設された水路函渠前後の大きな段差の解消及び傾斜地に埋設されている融雪装置の保護のため、既設の道路形状を細かく測量し、計画高を繰り返し検討して施工した
- ・その結果、走行性が良くなり、段差により発生する騒音、振動も解消されたほか、融雪装置も保護できた
- ・また、工区内の交通事故多発地帯に、新たに走行指導線設置の協議を管轄警察署と行い、完成後の交通事故抑制に努めた

13 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単道路総合防災対策工事 27-G914-30		
路河川名/地区名	(一)河辺阿仁線	施工地名	秋田市河辺赤平
商号又は名称	株式会社菅与組		許可番号 05-000958
請 負 額	122,697,720 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 畠山 順太郎		
監理技術者等	現場代理人 遠藤 智也		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	山田 豊	監 督 員	齋藤 直人
工 期	平成28年2月5日～ 平成29年2月17日	完成年月日	平成29年2月1日
概 要	1) 床版下面炭素繊維補強 A=330㎡ 2) 主ケーブルグラウト充填 N=10箇所 3) 外ケーブル主桁補強 N=16本 4) 炭素繊維主桁補強 A=224㎡		
特 徴	1) 赤平橋は昭和38年架設で現在まで53年経過 2) 走行車両の大型化 (橋の耐力を引き上げ(設計活荷重：TL14→A活荷重))		
写 真			
<div></div>			
完成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・架設当時の設計図面がないなかで、コンクリート主桁内部の既設鉄筋やPCケーブルの位置を探索し干渉しない位置を求め、新たに主桁外面に外ケーブルの定着体取り付けのため削孔するなど精度が求められる調査及び施工を行った
- ・既設PCケーブルのグラウト不充填部に対する対策においては、施工の前段で模型を使用して対策工の考え方や作業手順を確認することで、確実な施工と品質を確保したことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・53年前に竣工した古い橋のため当初設計資料がなく、削孔には細心の注意を要する施工条件の厳しい現場でした
- ・一例として、既存の鉄筋及び主桁内PCケーブルが予期せぬ位置に存在し、当初設計の外ケーブル定着装置が使用できないことから、新たに所定の性能を確保した形状の装置を提案し、採用して頂きました
また、他の工種でも施工環境整備に力を入れ、工事全体の品質を確保する事ができました

1 4 第 3 8 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（橋梁補修） 27-F154-30		
路河川名/地区名	(主) 秋田岩見船岡線	施工地名	秋田市卸町
商号又は名称	加藤建設・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	144,235,080 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社加藤建設 代表取締役 加藤 正己		
許可番号	05-002392	監理技術者等	現場代理人 越中 隆
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 飯沼 忠志
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	山田 豊	監 督 員	伊藤 浩
工 期	平成27年9月4日～ 平成28年7月29日	完成年月日	平成28年7月29日
概 要	1) 橋脚巻立て工、RC巻立て工、底版増厚工 N=1基 2) 仮栈橋工 N=1式 3) 仮締切工 N=1式		
特 徴	1) 秋田市中心部という制約条件の多いなか、周囲の環境に配慮した 施工を行い、高品質な工事を実施		
写 真			
<div></div>			
シルトフェンスによる水質汚濁防止 透明型枠の採用(充填状況確認) 騒音・振動の常時計測			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・現場は県内随一の市街地であり、交通量も激しい現場である
- ・工事用車両の出入りや、周辺への騒音・振動の影響への配慮等、市街地特有の諸課題に取り組んだ
- ・狭い進入路からの仮栈橋の築造や空頭制限があるなかでの仮締切工、土砂掘削工、配筋及びコンクリート打設など、狭隘な作業空間であるにもかかわらず、工夫した施工手法により優れた品質及び出来形で工事を完成させたことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・橋脚補強工事では巻立コンクリートの品質確保が最重点課題と考えた
- ・秋田市中心部の河川内であり、付着力確保と河川環境への配慮を同時に実現するためコンクリート表面の粗面処理にバキュームブラスト工法を採用した
- ・打設時は、材料分離防止を確実にするため打設口を増やし、さらに、メタクリル樹脂透明型枠を採用し、締固め状況を監視・管理することで、密実で良好な出来ばえのコンクリート構造物を構築できた

15 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	急傾斜地崩壊対策工事 27-LI41-10		
路河川名/地区名	女川地区	施工地名	男鹿市船川港女川
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	43,920,360 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 渡邊 憲幸
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤 浩一
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	樽田 太朗	監 督 員	佐々木 陽花
工 期	平成28年6月17日～ 平成28年12月9日	完成年月日	平成28年11月24日
概 要	1) 施工延長 L=38.3m 2) 吹付法枠 A=825㎡ 3) 鉄筋挿入工 N=201本		
特 徴	1) 狭隘な市道と老人ホームに隣接する急傾斜地対策工事 2) 工事中、老人施設との良好な関係を築き円滑に工事を完成		
写 真			
<div><div></div><div></div><div></div></div>			
着手前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・掘削工施工中、部分的に作業完了した箇所シートと土のうを設置し、降雨等による斜面浸食の発生を抑止するとともに市道の安全確保をしながら施工した
- ・市道通行止めの早期解除要望に対応するため、鉄筋挿入工足場施工からクレーン機械施工へ変更し、極力交通解放して施工することで、施設職員や来場者の通行を確保した
- ・工事の大型車両と一般車両が安心して交差できるよう、道路に掛かる枝払いや、工事用道路として使用する施設内の草刈り等を実施し、地域貢献したことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・現場は市道に近接していたため、交通規制の期間が極力短くなるよう工程を調整し、施工時は市道上に安全監視員を配置して、住民の利便性の向上と第三者災害の防止を図りました
- ・隣接する老人ホームへは、工事の騒音対策を講じ、除草や夏祭りへの準備協力などを行った結果、完成後に感謝状を頂きました
- ・今後も環境配慮を心がけ、地域貢献に努めます

16 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	重要港湾改修工事 28-PA10-10		
路河川名/地区名	臨港道路飯島南 2 号線	施工地名	秋田市飯島
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請 負 額	49,858,200 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	現場代理人 能登谷 孝介		
監督実施公所	秋田港湾事務所（建設部）		
主任監督員	中山 礼子	監 督 員	菅原 昭磨
工 期	平成28年5月20日～ 平成28年9月30日	完成年月日	平成28年9月30日
概 要	1) 施工延長 L=335m、幅員W=6.5m(20.0)m 2) 土工 N=1式 3) 下層路盤工 A=3,564㎡ 4) 上層路盤工 A=3,566㎡ 5) 表層工 再生②密粒度As(20) A=3,901㎡ ②密粒度As(13)改質Ⅱ型 A=3,924㎡ 6) 歩道舗装工 A=886㎡ 7) 縁石工 L=635m		
特 徴	1) 秋田港飯島地区の耐震岸壁へアクセスするための主要幹線道路 2) 別途発注工事との工程・施工調整及び安全対策		
写 真			
			
着手前		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、秋田港飯島地区の耐震岸壁へアクセスするための臨港道路飯島南2号線の舗装工事である
- ・施工にあたっては、オートレベルの使用による施工性の向上やアスファルトフィニッシャーに高さ調整のセンサーを取り付け、舗装時の平坦性を確保する等、施工管理に工夫が見られた
- ・また、現場は近接工事の工事車両が頻繁に横断するとともに、岸壁が近いことから釣り人が多いため、工事にあたっては適切な安全管理が求められていたが、仮設横断通路、看板及び保安施設を適切に設置するとともに救命浮環を配置する等、円滑な施工に努めたことから優良工事に資する工事である

◆施工業者からのPR

- ・本工事では、他工区車両や釣り人等の一般車両も頻繁に横断する箇所での施工であったため、仮設横断通路や案内(ルート)看板・予告看板を設置し安全と品質の確保に努めた
- ・適切な温度管理のなかでの舗設作業実施のため、各転圧温度の機械への掲示やオペレーターへの温度計携帯、合材付着防止剤を使用しての転圧を実施し、良質な舗装に仕上げた

17 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田県（金浦漁場） 水産環境整備工事 33327-K21		
路河川名/地区名	金浦漁場	施工地名	にかほ市金浦
商号又は名称	村岡建設工業株式会社	許可番号	00-024470
請 負 額	65,009,520 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村岡 兼幸		
監理技術者等	現場代理人 日和 秀毅		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	伊藤 清貴	監 督 員	中村 寿喜
工 期	平成28年3月14日～ 平成28年9月30日	完成年月日	平成28年9月30日
概 要	1) 着定基質工 A=0.55ha ブロック製作 N=215基 ブロック据付 N=231基		
特 徴	1) 製作ヤードが限られており、配置を工夫しながらブロックを製作する必要があった 2) カキ、アワビ漁のため据付時期に制約があり、海況を常に注視し工程を工夫する必要があった		
写 真			
			
製作ブロックの作業船積込状況		ブロックの海中設置後	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ブロック製作は、対象生物の産卵期に合わせるため据付時期に制約があることから、工程管理に常に気を配りながら進めなければならない工事であったが、現場代理人は地元漁業者・監督員との連絡を密にしながら必要個数を仕上がり良く完成させた
- ・関係機関や地元漁業者との連携を取り、漁業活動に配慮しながら高い精度で据付を行い工期に余裕をもって完成させた

◆施工業者からのPR

- ・ブロック製作について、製作ヤード活用計画を工夫したことで、効率のよい製作工程が組み、全体的な工期を短縮することができた
- ・ブロック設置について、水中部踏査をGPS及び音響探査機のほか、潜水土による調査を実施し、地形の問題点等を事前に把握することで、ブロック設置作業をスムーズに実施することができた

18 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	太郎ヶ台線（１工区） 流域育成林整備工事 RE1201A001		
路河川名/地区名	太郎ヶ台線（１工区）	施工地名	にかほ市伊勢居地
商号又は名称	コマツ建設株式会社		許可番号 05-000006
請 負 額	47,001,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小松 功		
監理技術者等	現場代理人 櫻庭 郷		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	田村 浩喜	監 督 員	三沢 寿
工 期	平成28年6月13日～ 平成29年1月31日	完成年月日	平成29年1月31日
概 要	1) 施工延長 L=765.8m、幅員 W=4.0m 2) 路盤工 N=1式 3) 橋梁（床版工） N=1基		
特 徴	1) 本路線は、平成13年度から林道開設工事が始まり、28年度当該工事を経て全線開通（総延長：L=11,213m）		
写 真			
			
完成		太郎ヶ台線と収穫期のスギ人工林	

◆監督実施公所の推薦理由



- ・ 資材搬入路を他者の風力発電事業と重複して使用することになったり、降雨による法面崩壊で通行できなくなったりする事態が起きたが他事業者との調整や復旧工事に柔軟に対応したこの法面復旧工事を行うことになったため、当初は降雪前の11月に予定していた橋面防水工を降雪期にくり延べせざるを得なくなったものの、橋梁全体に覆いを設置して、十分な乾燥状態を確保し施工した
- ・ 出来形が良好で安全管理も優れ、他の工事の模範となることから優良工事に推薦するものである

◆施工業者からのPR

- ・ 受注後発生した資材搬入路の法面崩落について迅速に対応し、また、それに伴い生じた橋面工事工程の遅れについては、仮設覆工を設置することで降雪等の影響を排除し、品質管理に努めるとともに工期内に完成させる事ができた
- ・ 秋田県水と緑の森林祭やマツ林健全化行事に参加するなど、地域への貢献に努めた

19 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	海岸防災対策工事 28-MR32-10		
路河川名/地区名	仁賀保海岸 芹田地区	施工地名	にかほ市芹田
商号又は名称	齋藤建設株式会社		許可番号 05-002033
請 負 額	93,709,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 齋藤 朝昭		
監理技術者等	現場代理人 齊藤 茂一		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	小林 勇	監 督 員	佐藤 忠
工 期	平成28年7月19日～ 平成29年3月23日	完成年月日	平成29年3月23日
概 要	1) 堤体工 L=20m 2) 基礎捨石工 V=127m ³ 3) 被覆石工 V=33m ³ 4) 袋型根固め4 t N=999袋		
特 徴	1) 現場工事が初年度のため、住民への配慮や関係機関との調整が必要な工事 2) 高波や高潮の気象条件の厳しいなかでの海岸工事		
写 真			
<div></div>			
完成			

◆監督実施公所の推薦理由


- ・本工事は仁賀保海岸芹田地区の海岸保全施設（護岸）の老朽化に伴う、復旧工事である
- ・本工事は既設護岸の撤去及び新設と工事用道路に使用する袋型根固めの製作設置であり、周辺に住宅が多く振動や騒音に配慮しながらの工事となった
- また、現場での既設護岸の撤去に伴い周辺住民からの高波や高潮時の被害も懸念されたため、次年度用に作成した袋型根固めを活用し仮設の堤防をつくるなど、住民への配慮を行っていた
- ・工事に係わる漁師や周辺住民との円滑な調整を図りながら工事を進めたことにより、事業への理解も得られたため、次年度以降の工事についても、円滑に進められるようになった事や工事の施工計画や出来形・品質管理及び安全管理にも優れ、他の工事の模範となるため優良工事にふさわしい

◆施工業者からのPR

- ・工事に伴い現場はもとより、特に周辺住民への対応を懇切丁寧にしたことで、住民の事業への関心も深まり、良好な関係が築くことができました
- ・住民対応が円滑であったため、現場にも集中でき、良好な品質、出来形となったと思います
- ・本受賞は監督員のご指導ならびに施工に携わった皆様、地域住民の皆様の協力のおかげであり、心から感謝申し上げます

20 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大神成地区 農地集積加速化基盤整備工事 06402-K01		
路河川名/地区名	大神成地区	施工地名	大仙市大神成
商号又は名称	高三建設株式会社		許可番号 05-060216
請 負 額	84,234,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高橋 篤美		
監理技術者等	現場代理人 高橋 久明		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	菅原 正喜	監 督 員	佐々木 博之
工 期	平成28年10月24日～ 平成29年3月10日	完成年月日	平成29年3月10日
概 要	1) 支線排水路工 L=533m		
特 徴	1) コンクリート工事の品質向上 2) 環境に配慮		
写 真			
<div><div><p>完成</p></div><div><p>鉄筋防錆処理剤使用</p></div><div><p>レイトンス処理剤使用</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由



- ・本工事は気象条件の厳しい冬期間の施工であり、落差工等のコンクリート構造物も多く、工程管理及び品質管理に配慮し工事を行う必要があった
- ・品質面では鉄筋への防錆処理剤の使用、レイトンス処理剤の使用及び養生の熱量計算温度管理などコンクリート品質の向上に創意工夫が見られた
- ・環境及び技術対策ではアイドリングストップ機能付きバックホウ、ジャストコンによる型枠設置時のPコンの穴埋め及び完成写真のドローン撮影など新技術、新工法を積極的に導入するなど、会社の技術革新に対する工夫も見受けられた

◆施工業者からのPR

- ・本工事は急峻な地形と降雪期の条件のなか、現場打ち構造物が主となる現場であったため、施工計画の立案を重要視し工程管理・仮設計画・コンクリートの品質向上・安全管理など施工管理全般にわたり留意し施工をおこなった
- ・下流河川への濁水や油流出の防止として沈砂池の設置・オイルフェンス一体型発電機の使用等、地域営農環境及び河川環境への影響を未然に防ぐことができた
また、地域で災害が発生した場合に備え土のう積みの講習会を実施し、緊急対応の訓練と防災知識の向上に努め地域の災害時に支援・協力ができる体制を取った

2 1 第 3 8 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	山谷地区 農地集積加速化基盤整備工事 05703-K04		
路河川名/地区名	山谷地区	施工地名	大仙市協和中淀川
商号又は名称	株式会社宮原組		許可番号 05-010808
請 負 額	46,228,320 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 高橋 正人		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	大木 寛	監 督 員	近藤 広貴
工 期	平成28年10月7日～ 平成29年3月15日	完成年月日	平成29年3月15日
概 要	1) 取水口工 N=1式 2) 吸水槽工 N=1式 3) 送水管 L=143.4m		
特 徴	1) 冬期間の生コン打設による寒中コンクリートの養生温度管理 2) 仮締切工における鋼矢板打込時の騒音・振動対策		
写 真			
			
完成		コンクリート打設状況	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は新設する揚水機の取水口工及び吸水槽工事である
- ・河川内における工事で、冬期間から融雪出水期までの気象条件が厳しいなか、創意工夫による環境対策として生分解性作動油の使用や沈殿槽による濁水流出防止に取り組んだ
- ・冬期間のコンクリート養生のため、ハンディロガーを用いて適切な温度管理を行った結果、厳しい現場条件にも関わらず良好な出来映え・品質が確保された

◆施工業者からのPR

- ・冬期間中の施工のため、温度管理を徹底して冬期コンクリートの品質確保に努めた結果、凍害やひび割れを防止することができました
- ・現場付近に民家やポンプ施設があったので、バイブロハンマーによる鋼矢板打設時は騒音・振動による苦情や建物への影響が懸念されましたが、低騒音・低振動機械の選定により、支障なく完成できました

22 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	火山砂防工事 LC60-20		
路河川名/地区名	谷地村沢	施工地名	仙北市田沢湖田沢
商号又は名称	佐藤建設株式会社		許可番号 05-002576
請 負 額	53,157,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 佐々木 忍		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	遠藤 秀樹	監 督 員	高橋 玄
工 期	平成28年3月14日～ 平成28年11月30日	完成年月日	平成28年11月30日
概 要	1) コンクリート堰堤本體工 H=2.4m、L=59m 2) 垂直壁 N=1基 3) 側壁・水叩工 N=1式 4) 取付護岸工 N=1式		
特 徴	1) 堰堤直下にある谷地村地区への土石流災害を防止する役目がある 2) 残存型枠の使用で景観がよい		
写 真			
<div><div><p>完成</p></div><div><p>地域の土石流災害を防ぎます</p></div><div><p>取付護岸工</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、土石流を防護する砂防堰堤を築造する工事である
- ・工事の施工にあたってコンクリートの打設管理に品質向上の工夫が見られ、出来形・品質とも優れている
- ・コンクリート打設時に、専用金具による手すりを取り付けて作業員の転落防止措置を行っており、適切で確実な災害防止に努めた
- ・現場内で、安全の見える化運動を積極的に行い、口頭で伝えることを文字や表示で表すことで安全意識が向上し、安全管理の徹底が図られた

◆施工業者からのPR

- ・コンクリート打設では、締固め器具の挿入線明示や打込みの記録を現場に掲示して品質の見える化を実施した
- ・材料の温度管理を徹底して施工品質の向上に努めた
- ・限られた作業スペースのなか、安全管理を徹底し、仮設備計画の工夫で作業効率をあげた

23 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害関連工事 KF12-30		
路河川名/地区名	齊内川	施工地名	大仙市太田町齊内
商号又は名称	株式会社佐藤建設	許可番号	05-011646
請 負 額	208,959,480 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 吉博		
監理技術者等	現場代理人 織田 宗悦		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	藤嶋 一史
工 期	平成28年5月16日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月17日
概 要	1) 施工延長 L=130m 2) 護岸工 A=3,003㎡ 3) 帯工 N=1式 4) 護床据付工 N=1,430個 5) 魚道工 N=1式		
特 徴	1) 4社の連携による工程管理が重要 2) 6社による資材及び土砂の搬入出が大量で大型車両の出入りが多い		
写 真			
<div><div><p>4社連続の仮締切</p></div><div><p>左岸完成、右岸へ移行後</p></div><div><p>完成</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由




- ・災害関連工事協議会の代表幹事として、各会員からの意見集約や工事にかかる対外交渉の全てを担当するとともに、発注者との協議を率先して行いその結果を協議会員へ速やかに周知徹底させるなど、自工区のみならず、他工区を含めた関連工事全体の円滑な施工による完成に多大な貢献した
- ・斉内川の洪水特性をよく理解し、降雨前の現場保全を的確に実施したことにより、数度にわたる豪雨出水が発生したにもかかわらず工程への影響は皆無であり、この対応は各工区の模範となった

◆施工業者からのPR

- ・4社連続する仮締切（鋼矢板）であり、始めに左岸の施工を同時期に終えて右岸に移行しなければならなかったため、4社で工程管理における報連相を常に行い、予定通り左岸側の施工を終え、右岸側に移行することができ、無事工期内完成に至った
- ・11社による施工者連絡協議会を幹事会社として設立し、連絡協議体制、安全体制、地域住民へのPR及び苦情予防処置体制を確立して無事故で地域とのトラブルもなく完成に至った

2 4 第 3 8 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害関連工事 KF12-40		
路河川名/地区名	斉内川	施工地名	大仙市太田町斉内
商号又は名称	寺田建設株式会社		許可番号 05-060336
請 負 額	176,880,240 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 寺田 文夫		
監理技術者等	監理技術者 鈴木 達也		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	藤嶋 一史
工 期	平成28年5月16日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月17日
概 要	1) 施工延長 L=98m 2) 取付擁壁工 N=1式 3) 魚道部隔壁工 N=1式 4) 護床据付工 N=1,283個 5) 護岸工 A=2,285㎡ 6) 魚道工 N=1式		
特 徴	1) 4社連続の施工区間であるため、綿密な工程管理が必要 2) 護床工の洗掘を考慮した長寿命化対策		
写 真			
<div><div><p>着手前</p></div><div><p>完成</p></div><div><p>護床工 洗掘防止コンクリート</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・前後を他工区に挟まれる現場条件であったが、各工種を他工区に先駆けて着手することにより早期に施工上の問題点を抽出し、その問題点を自社解決だけにとどめず、協議会へ提案することにより工事全体への円滑な進捗に大きく貢献した
- ・発注者が求めた川づくりに対しても、率先した提案、モデル施工の実施など、積極的な姿勢は大いに評価できる

◆施工業者からのPR

- ・4社連続の施工区間であり仮締切（鋼矢板）を行い施工する工事であったため、全社同時期に左・右岸の工事を完成させる必要があった
- ・そこで、先行し施工を進め問題点を抽出し改善点や効率の良い作業方法など他社の模範となるよう工事を進め、予定工程通りに工事を完成させることができた
- ・護床の長寿命化を実現させるために護床の横断方向に簡易帯工、曲部には洗掘防止コンクリート、隙間には覆土を施工し流水により護床ブロックが変動しないよう安定化を図った

25 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害関連工事 KF12-50		
路河川名/地区名	齊内川	施工地名	大仙市太田町齊内
商号又は名称	秋田振興建設株式会社		許可番号 05-000250
請 負 額	184,186,440 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小原 将司郎		
監理技術者等	現場代理人 木元 公洋		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	藤嶋 一史
工 期	平成28年5月16日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月17日
概 要	1) 施工延長 L=60m 2) 取付擁壁工 N=1式 3) 落差工 N=1式 4) 護床据付工 N=462個 5) 護岸工 A=953m ² 6) 魚道工 N=1式		
特 徴	1) 河川での構造物の一体化を図る施工手順の工夫 2) 冬季施工に伴うコンクリートの品質確保		
写 真			
<div></div> <div></div> <div></div>			
<div>魚道への水替え状況</div> <div>雪寒仮囲い状況</div> <div>完成</div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・施工の大半をコンクリート打設が占め、夏季・冬季の異なる季節の施工を実施するなかで、上下流工区に影響をおよぼすことがないよう綿密な施工管理・工程管理が求められたが、適時的確なフォローアップや工夫をすることにより他工区への影響を回避したことは大いに評価できる
- ・下流2工区への影響を考慮し、手戻りや工期の遅延を起こさない仮設処理を最大限に実施した対応は評価に値する

◆施工業者からのPR

- ・落差工及び護床工の施工にあたり一連で施工しなければならず、仮締切矢板を引抜後の水処理が問題となりましたが、左岸側の魚道を先に完成させ魚道を流しながら施工することで無駄な水替えをせず、落差工及び護床ブロックを連続して施工することができました
 - ・冬期間のコンクリートの品質を確保するため、雪寒仮囲いには足場板とペコビームによる屋根を設置し保温状態を良くし、給熱養生時には温度センサーを取付け、過度な温度上昇を抑えました
- また、自記記録温度計を設置し、外気温、養生内温度、コンクリート温度をいつでも確認できるようにした結果、クラック、凍害の無いコンクリートを施工することができました

26 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	河川災害関連工事 KF12-10		
路河川名/地区名	斉内川	施工地名	大仙市太田町斉内
商号又は名称	大和建設株式会社		許可番号 05-080823
請 負 額	117,986,760 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 大和 大介		
監理技術者等	現場代理人 明平 智志		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	藤谷 祐介	監 督 員	藤嶋 一史
工 期	平成28年8月1日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月21日
概 要	1) 施工延長 L=133m 2) 築堤盛土 V=490m ³ 3) 護岸工 A=2,610m ² 4) 帯工 N=2基 5) 根固め工 N=270個		
特 徴	1) 河川景観と調和する美山河ブロックを空積みした大型連結 ブロック張工 2) 魚類に配慮して魚道部を設けた帯工を175mピッチで配置		
写 真			
<div><div></div><div></div><div></div></div>			
No.8+108.936～		No.9+42.19～	
		2号帯工	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・工種の追加に対し、工程のフォローアップ、施工班の追加の対応により、再度災害防止に大きく貢献した
- ・生態系に配慮し、施工区域内の魚類の保護、放流を行う姿勢は評価できる

◆施工業者からのPR

- ・本工事には既設護岸にすり付ける隔壁工が左右岸にあり、事前調査の結果、左岸の格子護岸では法勾配、法長、高さ、右岸の石張り護岸では隔壁工の断面を変更しました
- ・工事完了後の融雪時期に増水した場合を想定して洗掘防止のため、2号帯工部及び法覆護岸上下流端に大型土のう及びガラ入りネットを設置しました
また、水の流れをスムーズにするため、工区外の河床を計画勾配で整正しました
- ・関係者及び施工者連絡協議会の皆様の協力のもと、無事工事を完成することができました
誠にありがとうございました

27 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	田ノ植地区 農地集積加速化基盤整備工事 06702-K01		
路河川名/地区名	田ノ植地区	施工地名	横手市平鹿町
商号又は名称	株式会社吉田建設		許可番号 05-002514
請 負 額	84,017,520 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 東海林 善和		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	高畑 新一	監 督 員	畠山 欣也
工 期	平成28年3月29日～ 平成28年12月22日	完成年月日	平成28年12月13日
概 要	1) 整地工 A=7.2ha 2) 用水路工 L=856m 3) 排水路工 L=945m 4) 道路工 L=860m		
特 徴	1) 高精度の整地均平技術の導入と長寿命化対策の実施 2) 工事安全協議会長として率先して安全な施工体制を構築		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>均平精度の向上</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>工事記録DVDの作成</p> </div> </div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・レーザーレベルや長尺パイプを使用し高精度の整地均平を確保、用水路目地の長寿命化対策として20mに1箇所の伸縮目地を施工、整地後の営農に備えた雑草対策など、出来形・品質の向上に工夫を凝らし積極的に取り組んだ
- ・ほ場整備工事の一連作業が工程順に動画でDVD編集されており、技術資料として活用できる
- ・関連事業の県道拡幅工事と調整を密に行い、通行車両や小学生等の通学路の安全確保に万全の対策を講じ施工した
- ・工事安全協議会長として、他7工区と連携し現場内の安全管理の徹底を図るとともに、安全祈願祭や現場広報誌により地域へ工事情報を発信し、工事の円滑な推進に取り組んだ

◆施工業者からのPR

- ・整地精度の向上対策や3D均平管理図の作成、用水路目地の損傷防止対策など、当社が長年、ほ場整備工事に携わり蓄積した施工技術を活用し、地域に満足される品質確保と工程管理に努めました
- ・地区の安全協議会を設置し、地域住民とのコミュニケーションや地区内の安全確保に率先して努めた結果、地域に密着した施工体制が構築され、地区の工事を円滑に進めることができました
- ・本工事の一連作業を記録しDVDを作成したため、この映像を活用し、ほ場整備工事に携わる建設業若手技術者育成に活用していきたいと思ひます

28 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方街路交付金工事 27-SB74-10		
路河川名/地区名	中央線	施工地名	横手市幸町
商号又は名称	株式会社村岡組		許可番号 05-011065
請 負 額	90,803,160 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 村岡 洋平		
監理技術者等	現場代理人 鈴木 之		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	柳橋 和敏	監 督 員	高橋 勝喜
工 期	平成27年6月26日～ 平成28年4月15日	完成年月日	平成28年4月15日
概 要	1) 施工延長 L=260m 2) 道路土工 N=1式 3) 路床安定処理工 A=1,060㎡ 4) L型側溝 L=410m 5) 流雪溝 L=377m 6) 舗装工(車道) A=3,287㎡、(歩道) A=775㎡		
特 徴	1) 住宅密集地での現道拡幅工事における施工調整 2) 低温時での舗装作業の品質確保		
写 真			
<div><div></div><div></div><div></div></div>			
<div>完成</div> <div>夜間(低温時)の舗装状況</div> <div>ミニかまくら点灯</div>			

◆監督実施公所の推薦理由




- ・関係施工業者により組織した工事安全連絡協議会の幹事社として積極的な工程調整を行い、安全で円滑な工事進捗に努めるとともに、周辺の清掃や除雪活動等の地域貢献に尽力した
- ・周辺住民や学校へ工事内容説明を行うとともに、看板設置や工事新聞配布による進捗状況の広報や花壇・電飾・ミニかまくら設置によるイメージアップ、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、騒音・振動対策など周辺環境へも配慮した施工を行った
- ・出来形精度が高くいずれも50%以内であり、品質においても低温時の舗装作業での対策や創意工夫など、良質な施工及び管理を行った

◆施工業者からのPR

- ・スーパーマーケット、路線バス運行会社の営業時間以外での舗装作業を要望され、近隣住民80世帯を訪問し夜間作業の説明を行い承諾を得ることにより苦情もなく作業を完了しました
- ・舗装施工時期が3月中旬のため、低温時の施工計画を立案し品質管理にあたった結果、良い品質を確保することができました
- ・冬期間には、通学路やバス停の除雪活動を行い、横手のかまくらまつりにはミニかまくらを作り、地域の人たちと交流を図りました

29 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良工事（自然災害防止債） 28-K414-10		
路河川名/地区名	横手川	施工地名	横手市黒川
商号又は名称	三又建設株式会社	許可番号	05-010838
請 負 額	49,527,720 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 下夕村 正樹		
監理技術者等	現場代理人 小棚木 智宏		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	高橋 忠信	監 督 員	堀井 克則
工 期	平成28年9月9日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 施工延長 L=108.5m 2) 河川土工 N=1式 3) 法覆護岸工（大型連結ブロック） L=43.9m、A=951㎡ 4) 根固めブロック工（2t型新設） N=40個		
特 徴	1) 厳しい施工条件下における工程管理と品質確保の取り組み		
写 真			
<div><div><p>完成</p></div><div><p>温風によるコンクリートの品質確保</p></div><div><p>二次製品を活用し、 精度の高い施工を実施</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由


- ・ 施工時期が冬季の厳しい現場条件のなか、温風によりコンクリートの養生効率を上げ品質の確保に取り組んだ
- ・ 二次製品の活用などの工夫により非常に精度の高い施工を行うなどし、遅れを生じさせることなく工事を完了させた
- ・ 本工事周辺の道路において、クリーンアップを実施するなど、地域貢献活動も実施した

◆施工業者からのPR

- ・ 例年よりも河川水位が高く、融雪水による増水が心配される厳しい状況でありましたが、作業員増員などのフォローアップにより低水部と高水部を平行作業する事で工期内に完成させる事ができました
- ・ 資材搬入地点から施工地点までの運搬距離が長いため、資材待ちによる作業効率の低下が心配されましたが、不整地運搬車を常時配置する事により安定した資材供給体制を維持する事ができました
- ・ 河川管理の観点から堤防道路上にある支障枝の伐採を行いました

30 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	藤倉地区 緊急予防治山工事 RH1102A810		
路河川名/地区名	藤倉地区	施工地名	湯沢市皆瀬
商号又は名称	株式会社佐藤建設		許可番号 05-005263
請 負 額	44,152,560 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 清次		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 浩		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	武石 直久	監 督 員	桑原 理早
工 期	平成28年7月11日～ 平成29年2月20日	完成年月日	平成28年11月30日
概 要	1) 治山ダム工 N=2基 NO.1 コンクリート床固工、NO.2 木製床固工		
特 徴	1) 堤体に木材を使用した治山ダム工の施工 2) 施工地に係る地権者及び施設管理者との綿密な連絡調整		
写 真			
<div><div><p>NO.1コンクリート床固工</p></div><div><p>NO.2木製床固工</p></div><div><p>建設ホスピ看板設置</p></div></div>			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・木製床固工に使用する杉角材は、夏期高温による「ねじれ・そり」や冬期降雪による雪氷付着が発生するため、影響が少ない秋期に施工時期を設定するなど、使用資材の特性を踏まえた工程管理に努めている
- ・施工地の溪流は、上水道施設が敷設されており、施設管理者及び地元住民と調整を必要としたが、関係者に施工方法を丁寧に説明し、苦情なく完成させた
- ・施工地入口の県道に「ゆざわジオパーク」をPRする建設ホスピ看板を設置し、積極的に社会貢献活動を実施している

◆施工業者からのPR

- ・工程管理では、2基の床固工の同時施工が可能となるよう資材搬入路を新規に設置し、施工性・資材搬入の効率性を図り、工期短縮を実現しました
- ・ドローンを写真管理に導入し、上空からの進捗率確認・床固工の躯体のねじれ・通りの全景確認を実施し、品質向上を図りました
- ・暑中コンクリート対策に保湿効果を高めたコンクリート湿潤養生マットを使用し、乾燥収縮ひび割れ防止対策を徹底しました
- ・安全管理では、掘削箇所の斜面崩壊を検知するLED回転灯の設置や外部講師による安全講習会を実施しました

3 1 第 3 8 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（交通安全） FI84-10		
路河川名/地区名	国道３９８号	施工地名	羽後町西馬音内
商号又は名称	株式会社小野建設	許可番号	05-006332
請 負 額	83,082,240 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小野 雅敏		
監理技術者等	現場代理人 柴田 浩秀		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	今野 速太	監 督 員	佐藤 勝之
工 期	平成27年9月14日～ 平成28年6月15日	完成年月日	平成28年6月15日
概 要	1) 施工延長 L=180m、幅員W=6.0～9.5(10.0～15.0)m 2) 道路土工 N=1式 3) 排水構造物 N=1式 4) 舗装工 N=1式		
特 徴	1) 道の駅うご新設に伴う国道３９８号交差点改良工事 2) 現場周辺で複数の工事が行われており、調整に配慮を要した工事		
写 真			
			
施工状況		完成	

◆監督実施公所の推薦理由



- ・ 近接して道の駅建設、町道拡幅等の工事があるなか、事業調整会議の代表幹事を務め、工事の円滑な進捗に寄与した
- ・ 沿道に羽後町役場、医院、ガソリンスタンド等が立地しているなかで、交通安全及び周辺環境への配慮が特に優れていた
- ・ 会社全体として、創意工夫に積極的に取り組む姿勢が見受けられた

◆施工業者からのPR

- ・ 安全協議会の議長として関連工事5件、関係自治体との調整を行い、工程を円滑に進め工事を完成させた
- ・ 軟弱地盤の施工に際し、地盤の支持力改善工法を監督員と協議採用し、掘削断面の最小化を図り現道交通に支障なく施工完了した
- ・ 油圧回転式切削機械を使用することにより、既存コンクリートの取壊し時に騒音・振動が軽減され、工期の短縮にもつながった

3 2 第 3 8 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路等整備工事（建設） I480-10		
路河川名/地区名	国道 3 4 2 号	施工地名	東成瀬村椿川
商号又は名称	株式会社和賀組		許可番号 05-001900
請 負 額	43,584,480 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 和賀 幸雄		
監理技術者等	現場代理人 平良 隆志		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	今野 速太	監 督 員	三浦 俊明
工 期	平成28年3月28日～ 平成28年10月24日	完成年月日	平成28年9月1日
概 要	1）施工延長 L=312.25m、幅員W=5.5(8.0)m 2）軽量盛土工 N=1式 3）排水構造物工 N=1式 4）路体盛土工 V=1,100m ³		
特 徴	1）線形改良及び勾配改善を目的とした国道 3 4 2 号道路改築工事 2）EPSを用いた既設道路の拡幅盛土		
写 真			
<div></div>			
施工状況		完成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 出来形、品質がともに良好であり、現場条件の変化への対応も迅速であった
- ・ 既設道路を谷側の水田部へ拡幅する工事であったが、水路等について地域住民とよく調整を行い、適切な施工に努めた
- ・ 工事の内容について、説明看板を設置し、地域住民にわかりやすく周知した
- ・ 工事現場周辺の清掃等を行い、地域の美化に努めた

◆施工業者からのPR

- ・ 現況地山とカーブ法線に対応するため、発泡スチロールブロックの高精度な加工と、各段毎に壁面位置の座標値を計測修正することにより、軽量盛土の品質向上に努めた
- ・ 軽量盛土の施工例を紹介した工法説明用看板を設置し、地域住民の不安解消・工法への理解を図った
- ・ 用地内での作業が困難な箇所において、農地を借用し一時転用届けを行って工事用道路とし、作業の効率化を図り、工期短縮に努めた

3 3 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田地区中高一貫教育校（仮称）中学校体育館棟建築工事		
路河川名/地区名	—	施工地名	秋田市仁井田緑町
商号又は名称	三菱・長谷駒・三和・千代田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	819,720,000 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	三菱マテリアル電子化成株式会社 取締役社長 越村 正己		
許可番号	05-080590	監理技術者等	現場代理人 赤根谷 洋
(構 成 員)	株式会社長谷駒組 代表取締役 長谷川 尚造		
(許可番号)	05-001067	(監理技術者等)	主任技術者 木曾 由美子
(構 成 員)	三和興業株式会社 代表取締役 武田 鋭彦		
(許可番号)	05-080626	(監理技術者等)	主任技術者 初山 健元
(構 成 員)	千代田興業株式会社 代表取締役社長 藤澤 正義		
(許可番号)	05-000278	(監理技術者等)	主任技術者 後藤 誠
監督実施公所	営繕課（建設部）		
主任監督員	三浦 花誉	監 督 員	小林 真衣
工 期	平成27年10月8日～ 平成28年12月19日	完成年月日	平成28年12月19日
概 要	1) 体育館棟 （鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）3階建て延べ面積3,481.47㎡） 2) 渡り廊下(1)（鉄骨造2階建て 延べ面積66.71㎡） 3) 渡り廊下(2)（鉄骨造（既存2階に増築） 延べ面積13.37㎡）		
特 徴	1) 既存校舎を使用しているため、生徒の安全管理に配慮を要する 2) 住宅が近接しているため、工事による騒音・振動への配慮を要する		

写 真



コンクリートの冬期養生



完成(外観)



完成(内観)

◆監督実施公所の推薦理由

- ・住宅地に近接した現場であることから搬入車両、搬入経路及び搬入時間帯の制限を行い騒音・振動に対する配慮を行った
- ・狭小な敷地で、生徒（歩行者・自転車）通路と工事通路を分けし、安全に配慮した仮設計画を行った
- ・冬期コンクリート打設では、養生上屋の設置及びヒーターによる適切な温度管理により品質確保に努めた

◆施工業者からのPR

- ・既存校舎に囲まれ敷地が狭く、隣地にも近いことから荷揚げ重機の選定、資材ヤードの確保、整理整頓、安全通路を確保し敷地及び現場内の有効利用を図ったうえ、搬入時間帯の制限を行い、振動・騒音対策を図り環境表示センサーを設置して数値の見える化を行った
- ・冬期コンクリート打設後の初期加熱養生温度を確保するため、養生上屋及びファーンレス型ジェットヒーターを使用した
また、デジタル式自記温度計を使用し、数値の見える化を図り品質確保に努めた

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副知事	堀井 啓一
選考委員	総務部長	島崎 正実
〃	農林水産部長	佐藤 博
〃	建設部長	柴田 公博
〃	出納局長	佐藤 満

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設技監	小川 智弘
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)	
〃	部会長	及川 洋
〃	専門委員	後藤 文彦
〃	専門委員	佐藤 悟
〃	(秋田県知事部局関係課室)	
〃	農地整備課長	能見 智人
〃	農林水産部参事(兼)水産漁港課長	千葉 俊成
〃	森林整備課長	櫻田 良弘
〃	建設政策課長	智田 邦英
〃	技術管理課長	田口 郁夫
〃	都市計画課長	竹村 勉
〃	建設部参事(兼)道路課長	石川 浩司
〃	河川砂防課長	小野 久喜
〃	港湾空港課長	須田 政博
〃	(秋田県教育庁関係課室)	
〃	総務課施設整備室長	保坂 一美

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

平成23年4月25日一部改正

平成24年4月1日一部改正

平成28年2月9日一部改正

平成29年3月9日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P39の名簿参照のこと

第3回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	業 者 名	代表者名	発注公所
1	用地測量業務委託 28-I104-Y1	寺内新屋 雄和線	株式会社測地コンサル タント	高橋 敦	秋田地域振興局
2	用地測量業務委託(第1工区) 27-I542-Y4	河辺阿仁線	創和技術株式会社	伊藤 隆喜	秋田地域振興局
3	下川内堰地区 ため池等整備 (用排水)業務委託 28-01001-Y01	下川内堰 地区	株式会社興和技術コンサル タント	佐藤 功	由利地域振興局

地質調査業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	業 者 名	代表者名	発注公所
4	地質調査業務委託 28-K162-Y1	阿仁川	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	北秋田地域振興局
5	秋田第4(秋田)地区 震災対策 農業水利施設整備業務委託 40401-Y03	秋田第4 (秋田)地区	株式会社創研コンサル タント	田森 宏	秋田地域振興局

土木設計業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	業 者 名	代表者名	発注公所
6	下川内堰地区 ため池等整備 (用排水)業務委託 28-01001-Y02	下川内堰 地区	株式会社興和技術コンサル タント	佐藤 功	由利地域振興局
7	八郎潟1期地区 基幹水利施設 ストックマネジメント業務委託 03201-Y01	八郎潟1期 地区	株式会社ウヌマ地域総研	鵜沼 順之	秋田地域振興局
8	護岸詳細設計業務委託 28-K310-Y1	石沢川	株式会社創研コンサル タント	田森 宏	由利地域振興局
9	砥沢地区 地すべり防止業務委託 RE1112B101	砥沢地区	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	由利地域振興局
10	災害査定調査費 公共土木施設 災害調査設計業務委託 28-8003-Y1	内川ほか	株式会社共和技研	畠山 主税	山本地域振興局

調査点検等業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	業 者 名	代表者名	発注公所
11	河川環境調査(魚類等)業務委託 K375-Y1	斉内川	株式会社自然科学調査 事務所	鈴木 建一	仙北地域振興局
12	仙北地域振興局管内 橋梁定期点検業務委託 F199-Y6	国道105号 ほか	株式会社ウヌマ地域総研	鵜沼 順之	仙北地域振興局

◆業務概要

委 託 名	用地測量業務委託 28-I104-Y1		
路河川名/地区名	寺内新屋雄和線		
商号又は名称	株式会社測地コンサルタント		
請 負 額	3,534,840 円	種 別	用地測量業務
代 表 者	代表取締役 高橋 敦		
管理技術者	進藤 敏雄		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	安藤 知則	調 査 員	村上 忍
工 期	平成28年5月27日～ 平成28年10月31日	完成年月日	平成28年10月31日
概 要	1) 用地測量 A=9,000m ²		

◆受注者の声

《1. 業務の特徴》

対象路線は、豊岩豊巻集落より順次改良工事が進められてきた路線で、特に本調査箇所は地元からの強い要望により修正設計を実施している。このため工事に関する関心が高く、適切で迅速な対応が望まれる業務である。

《2. 業務において技術的に気を付けた点》

現況図と公図及び地積測量図を重ね合わせて想定境界線を整理し、不整合箇所の抽出を行った。不整合箇所の現地状況、旧公図（和紙）や市役所備付図面を調査し、土地が変状した経緯を調べて現状との整合性を図り、解りやすい資料の作成を心掛けた。

また、地域内において複数箇所の立会いを要する所有者に対しては、一度で立会いが済むように時間または日程の調整を行い、関係者への負担軽減に努めた。

《3. 問題点及び対応策》

対象地内において、道路の開設や水田を盛土して畑地に改変したところがある。その箇所については、公図や地積測量図から境界の想定が困難であった。

その対応策として、まず既存資料を参考にして土地の改変時期を特定し、次にその前後に撮影された航空写真（昭和42年と昭和50年撮影）を入手してこれを判読し、既存の地積測量図との関連性を見出して当時の境界線を推定した。

この手法を採用したことで境界に関する基礎資料が充実し、現地における立会いをスムーズに進行できた。

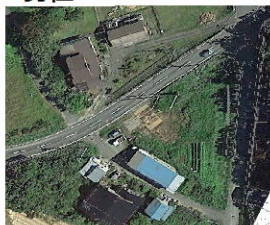
昭和42年 国土交通省
国土地理院より



昭和50年 国土交通省
国土地理院より



現在 画像©2017 Googleより



◆発注公所の所見

- ・当工区は、現地と公図の不整合箇所が多数存在し、境界線の決定が困難な箇所であったが、旧公図や法務局備え付け地積測量図等に加え、航空写真も参考に根拠のある境界線の推定に努めた
- ・当工区には管理者不明の法定外公共物も多数存在したが、関係資料の収集、調査に努め、土地改良区等の関係機関と協議を重ねたことにより、管理者を特定し、境界確認ができた

◆業務概要

委 託 名	用地測量業務委託（第1工区） 27-I542-Y4		
路河川名/地区名	河辺阿仁線		
商号又は名称	創和技術株式会社		
請 負 額	7,602,120 円	種 別	用地測量業務
代 表 者	代表取締役 伊藤 隆喜		
管理技術者	三浦 裕之		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	安藤 知則	調 査 員	村上 忍
工 期	平成28年3月4日～ 平成28年8月5日	完成年月日	平成28年8月5日
概 要	1) 用地測量 A=24,400㎡		

◆受注者の声

1. 《本業務の特徴》

本業務は、宅地・耕地・山林と地目が混在した一般県道の改良工事に伴う用地測量である。国土調査未整備地区のため、境界確定は旧公図等を基に行うことから、隣接土地所有者と互いに確認しながら境界杭を設置する必要がある。国土調査整備済地区に比べ境界確認に時間を要することから、関係者を待たせる事がないよう境界確認準備・作業を行う必要があった。

2. 《業務遂行上の課題》

- ①国土調査未整備地区のため、境界確認に先立ち現地と公図との整合が必要。
- ②関係者が36人と多いため、立会日等きめ細かな調整が必要。
- ③墓地共有地があるため、立会人等事前に地元関係者との打合せが必要。

3. 《上記課題に向けた対応及び結果》

- ①立会いに先立ち、弊社独自で作成した現況公図重ね図、写真公図重ね図により、隣接所有者との確実な立会を実施することができた。
- ②立会日等綿密な調整を行い、3班体制により実施した結果、現地立会いをスムーズに実施することができた。
- ③事前に町内会等から聞き取り調査を行い、墓地代表関係者と事前打合せ会を実施したため、現地立会い時にスムーズに対応することができた。

4. 《工夫した点》

事業用地の幅杭及び確定された境界杭の状況把握と、後の登記手続きを見据え、全境界点（1点毎）の写真を撮影し成果品とした。

5. その他《弊社の取組み》

測量部門では、20代測量士を主任技術者とし、スタッフにベテラン技術者を配置する業務形態も一部取りながら、若手技術者の育成に努めております。

また、測量用UAVや地上型レーザースキャナーによる3Dデータの作成等、ICTの活用を一部業務で実施しており、3D設計まで含めた業務体制作りに努めております。



◆発注公所の所見

- ・土地境界線に強く反対する地権者に対し、現況の工作物、旧公図の絵図面、地積測量図等を基に、専門用語に頼らず丁寧に説明を行い、地権者の理解を得ていた
- ・また、墓地共有地等の所在する複雑な地勢にも関わらず、関係者との事前調整等により立会を円滑に進めた

◆業務概要

委 託 名	下川内堰地区 ため池等整備（用排水）業務委託 28-01001-Y01		
路河川名/地区名	下川内堰地区		
商号又は名称	株式会社興和技術コンサルタント		
請 負 額	20,350,440 円	種 別	用地測量業務
代 表 者	代表取締役 佐藤 功		
管理技術者	伊藤 貢生		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	加藤 晃	調 査 員	茂内 博哉
工 期	平成28年6月20日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 路線測量 L=2.4km 2) 用地測量 A=4.32ha 3) 用地調査 A=0.70ha		

◆受注者の声

本業務の遂行にあたり、由利地域振興局農林部農村整備課の皆様をはじめ、地元推進委員会や土地改良区の皆様から多くのご指導と大きなご支援を賜りました。また、市担当者様と法務局担当者様からは事業スケジュールを御理解いただき、迅速な登記処理にお骨折り頂きました。調査にご協力頂いた土地所有者や関係人の皆様を含め、心から感謝申し上げます。

【業務のポイント】

①調査区域の関係人や受益者との関わり

測量作業中に地元関係人から寄せられた様々な地域特性などの情報や設計要望は、発注者や設計担当者、地元推進委員と共有し、事業目的と照合、整理のうえ路線測量や設計業務に反映した。

②阻害要因の調査

事業スケジュール内で円滑な用地補償がなされるよう、用地取得の難航が予想される多人数共有地や不在者所有地及び森林法など法令上の制限がある土地の詳細を調査し、線形決定や仮設工の位置決定を行うための基礎資料とした。

③土地境界に関する調査

本地区は地籍調査済み区域だが、実施年度が古く現況平面図との重ね合わせにより地籍図に現地との大きな不整合が発見された。古い公図や地籍調査時の資料、土地所有者からの聞き取りにより、以前の境界確定の沿革を調査した。

地元説明会



郷内発電所鶯川調整池



◆発注公所の所見

- ・本業務の用地測量・調査において、現地の土地形状と公図が異なる箇所があり地図訂正を行う必要が生じたが、地元関係者及び関係機関等との調整や協議に必要な資料作成など迅速に対応された
- ・特に、土地境界に関しては、資料収集や聞き取り等により過去に遡る境界確定の沿革を調査するなどして適切な処理につながり、その対応は高く評価できる

◆業務概要

委 託 名	地質調査業務委託 28-K162-Y1		
路河川名/地区名	阿仁川		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請 負 額	52,637,040 円	種別	地質調査業務
代 表 者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	栗山 大助		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	桜庭 正人	調 査 員	山内 和彦
工 期	平成28年8月19日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 機械ボーリング N=7孔 L=303m 2) 計器等設置・観測・資料整理 N=1式 3) 水質試験 N=1式 4) 解析等調査 N=1式 5) 地形・路線測量 N=1式 6) 護岸・法面設計 N=1式		

◆受注者の声

業務の特徴・課題

当地すべりには、当地域の重要インフラである秋田内陸線と一級河川・阿仁川が地すべり末端に位置します。2月17日には、積雪期における急激な気温上昇に伴い、内陸線近接斜面の一部が崩壊し、一時運休する事態となりました。安全かつ早期に運行するための課題として、以下の点が挙げられました。

- ①秋田内陸線を安全運行するための地すべり監視体制の構築
- ②地すべり全体の効果的な応急対策工計画
- ③内陸線近接斜面の観桜期までの対策工事完了と運転再開

課題解決に向けて工夫した点・苦労した点

①の対応としては、地すべり変動をリアルタイムで監視可能な自動観測を導入しました。また、警報装置も整備し、管理基準値に達した場合には列車を緊急停止することができるシステムを運用し、事故を未然に防ぐことができました。

②の対応としては、地すべり末端に鉄道が位置する稀な地すべりであるため、学識経験者からの助言をいただきながら複合的な地すべりの機構解析を行うとともに、効果的な地下水排除工を提案しました。今融雪期においては、地すべり変動が収束傾向にあります。

③の対応としては、工期短縮を実現するため、工法選定において資機材調達や人員確保なども含めて検討しました。また、工事と併行して詳細設計を進め、観桜期までに無事工事を完了させ、早期運転再開にこぎ着けました。



◆発注公所の所見

- ・当該業務において、地質調査及び地すべり観測の結果から適正な判断、追加調査提案で高く評価できる成果内容であった
- ・また、業務期間中に発生した法面崩落（H29.2）に対しても、調査測量から詳細設計までにおいて非常に厳しいスケジュールだったにも関わらず、高い精度で高度な技術提案がなされ、対策工事を早期完成させることができた

◆業務概要

委 託 名	秋田第4（秋田）地区 震災対策農業水利施設整備業務委託 40401-Y03		
路河川名/地区名	秋田第4（秋田）地区		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請 負 額	7,174,440 円	種別	地質調査業務
代 表 者	代表取締役 田森 宏		
管理技術者	浅川 敬公		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	三浦 学	調 査 員	加藤 竜
工 期	平成28年10月28日～ 平成29年2月10日	完成年月日	平成29年2月10日
概 要	1) ため池地質調査 N=3箇所 2) 土質ボーリング N=9孔 3) 原位置試験 N=1式 4) 室内土質試験 N=1式		

◆受注者の声

本業務は、地形・地質・利用条件等の異なる3箇所のため池について、液状化の判定を含め、耐震性の有無の検討に必要な堤体及び基礎地盤の地質に関する基礎資料を得ることを目的として実施した。業務の実施にあたっては、以下の点に留意した。

1. 堤防の利用状況に応じた作業計画

堤頂部が遊歩道として整備されていたり、通学路として利用されていたりと、各ため池で堤防の利用状況が異なっていた。そのため、諸関係者と打合せを実施して、ため池ごとに最適な作業期間・仮設計画・安全対策等の作業計画を立案して実施した。

2. 調査・解析精度向上のための取り組み

堤体・基礎地盤の土質状況や補修履歴等の資料及びGISを用いて作成した液状化履歴・地質図・活断層等を重ね合わせた図面等から、各ため池の調査時における重要な着目点を抽出し、現地調査前に基礎資料として示した。各ため池の土質状況に応じたサンプリング手法や力学試験方法を提案して実施した。解析に必要な土質定数は、液状化判定や概略の安定計算を実施し、妥当性を確認した上で報告した。基礎地盤に軟弱粘性土が分布する場合には、安定解析手法の性質上、最低安全率の円弧すべり面が深部に発生する。しかし、既設堤体が湿潤状態で崩壊する場合は、基礎地盤の比較的浅い位置ですべり崩壊が発生するのが一般的である。そのため、このような矛盾を避けるために、基礎地盤が軟弱粘性土層主体の場合は、解析地盤のモデル化を比較的浅所までとすることを提案した。

3. 若手技術者の育成

若手技術者の育成のため、入社2年目の若手技術者を担当者として配置し技術指導を行った。

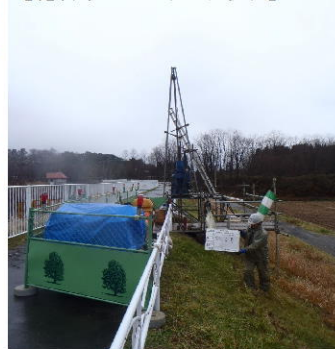
4. 品質確保

当社におけるISO9001に基づく、複数回の社内照査を実施して品質確保に努めた。

5. すみやかな業務遂行

発注者や設計担当者への同時メール送信による情報共有やクイックレスポンスを実施した。

【堤頂部のボーリング状況】



◆発注公所の所見

- ・本業務は、農業用ため池の耐震性の有無の検討に必要な地質の基礎資料を得るために実施したもので、設計方針と整合を図りながら進める必要がある業務であった
- ・現地調査前に各ため池の重要項目を示した基礎資料の提示や、調査中における土質条件に応じたサンプリング手法及び力学試験方法の提案など、業務の進め方並びに調査結果は高く評価できる

土木設計業務部門 1 第3回 秋田県優良業務表彰 受賞業務

◆業務概要

委 託 名	下川内堰地区 ため池等整備（用排水）業務委託 28-01001-Y02		
路河川名/地区名	下川内堰地区		
商号又は名称	株式会社興和技術コンサルタント		
請 負 額	7,657,200 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代 表 者	代表取締役 佐藤 功		
管理技術者	黒澤 郁夫		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	加藤 晃	調 査 員	茂内 博哉
工 期	平成28年6月20日～ 平成29年3月17日	完成年月日	平成29年3月17日
概 要	1) 用水路実施設計 L=1.9km 2) 仮設道路実施設計 L=0.6km		

◆受注者の声

【業務の特徴】

本業務は山腹斜面にある農業用水路の改修整備を行うための実施設計でした。
対象水路は傾斜地にあり、建設機械が容易に進入できない地形条件、特に鶯川調整池脇はダム施設と近接しており、左側は湖、右は急傾斜「土砂崩壊防備保安林」指定地でした。
環境面では、水路が樹林の中を流れることによる水温の抑制、人為的な水位操作、複数の沢が流入するなどの特徴がありました。

【工夫した点】

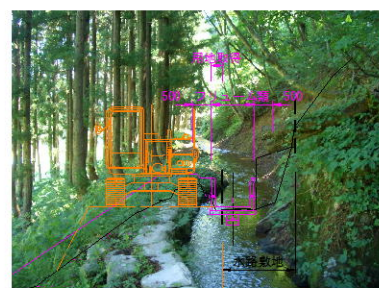
ダム近接部：ダム護岸と一体化した水路区間は狭隘で建設機械が進入できないので、施工可能な工法を比較し「②短尺製品を油圧ジャッキ押しする施工法」を採用しました。

環境対策：改修により水路側壁がコンクリート直壁とした場合は、両生類は堰内から岸に上がることが出来なくなるため、沢流入箇所小動物や両生類が昇降できる昇降斜路を配置計画しました。

既設利用：災害等で局部的に整備済みの区間については、施設状態を調査し、移設や補修を施し積極的に利用する計画としました。

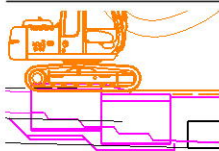


ダム近接



油圧ジャッキ押し施工

工法	経済性 L=13m当り	考察
①クレーン足場造成+フリューム布設	773 千円	湖内の進入なので危険。
②油圧ジャッキ押し+フリューム布設	253 千円	◎
③とう性管を用いた管水路	471 千円	φ600だとクレーンが必要。
④クレーンを配置しない現場打水路	455 千円	○



◆発注公所の所見

- ・本業務の対象施設は、山腹斜面を通過し、一部がダム護岸部に近接するなど施工上の制約もあり、設計等において難易度の高い業務となっている
- ・業務にあたっては、厳しい地形状況等を的確に把握し、施工性及び経済性等を考慮した検討を行っており、その設計内容は高く評価できる

◆業務概要

委 託 名	八郎潟 1 期地区 基幹水利施設ストックマネジメント業務委託 03201-Y01		
路河川名/地区名	八郎潟 1 期地区		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	11,930,760 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代 表 者	代表取締役 鵜沼 順之		
管理技術者	原田 茂		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	保坂 学	調 査 員	阿部 信太郎
工 期	平成28年6月10日～ 平成28年11月30日	完成年月日	平成28年11月30日
概 要	1) 揚水機場補修実施設計 N=1式 2) 用水ポンプ設備補修実施設計 N=1式 3) 高架水槽補修実施設計 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴と課題

本業務は機場建屋、ポンプ設備、電気設備、吸水槽及び高架水槽から構成される一連の複合施設の更新及び補修設計を行ったものであり、多岐にわたる技術力が要求された。特に、高架水槽の更新設計では建設当時の計算資料が不明なことから、新たに構造、規模等の検討を必要とした。また、今年度工事を見据えた事業費や工事工程等についても早急に対応することが課題であった。

【高架水槽】



2. 課題の解決に向け工夫した点

①関連地質調査に関する追加調査提案

当該業務に関連して同時実施された地質調査について、液状化判定に必要な調査・試験を適宜提案し、業務の円滑化と業務費用縮減を図るとともに、設計精度の向上に努めた。

②現地詳細測量の追加提案

高架水槽建設現場は既設構造物（既設くい、送排水管のルート）との取合いや、施工ヤード、重機搬入位置を詳細に検討する必要があるため、詳細測量を提案実施し、構造設計及び施工計画における安全性の確保に努めた。

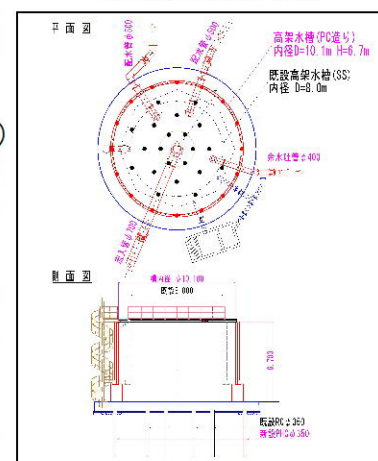
③既設構造物を最大限活用した高架水槽の更新

既設ポンプの脆弱性の解消のため、高架水槽の容量、直径の再計算の結果、 $\phi 8.0\text{m} \rightarrow \phi 10.1\text{m}$ へと規模を拡大した。それに伴い、既設くいの再利用と新設くいの追加を提案した。

④中間報告書の提出

作業段階毎に中間報告書（3回）を提出し、発注者や土地改良区との情報共有及び協議の円滑化に努めた。

【高架水槽計画図】



◆発注公所の所見

- ・本業務は、老朽化の著しい揚水機及び高架水槽からなる水利施設一連の検討を行う実施設計であり、現況施設の耐用や機能を活かしながらの補修及び更新並びに構造設計であることから、高い精度での技術的判断を要する業務であった
- ・各施設の設計方針を関係機関と詳細に検討し、経済性を考慮しつつ維持管理の低減を最大限考慮した設計内容は、高く評価できる

◆業務概要

委 託 名	護岸詳細設計業務委託 28-K310-Y1		
路河川名/地区名	石沢川		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請 負 額	18,831,960 円	種 別	土木設計業務（詳細設計）
代 表 者	代表取締役 田森 宏		
管理技術者	佐藤 光正		
発注公所	由利地域振興局（建設部）		
主任調査員	小林 勇	調 査 員	加藤 大貴
工 期	平成28年6月14日～ 平成28年12月22日	完成年月日	平成28年12月22日
概 要	1) 護岸詳細設計 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

当該河川は、両岸に水田が広がり、水際や河道内の豊かな植生や良好な滞筋の形成など、良好な河川環境により豊かな生態系が形成されており、この貴重な河川環境を保全することが重要であった。

また、上流の老方地区で本川と主要地方道横手・東由利線が隣接した区間があり、築堤・護岸計画の支障となった。

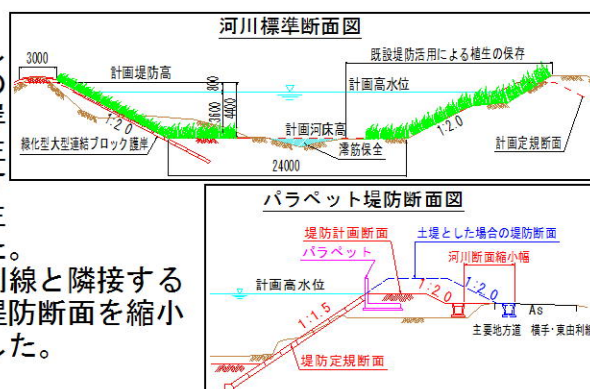
2. 業務遂行上の留意点（課題）

①河川環境の保全：計画高水流量を流下させる断面を確保しつつ、滞筋や河道内の豊かな植生を保全することが課題であった。

②支障物近接箇所の対処：主要地方道横手・東由利線に計画堤防断面が掛かると道路の移設が生じるため、築堤・護岸計画は計画堤防断面が河川敷地に収まる計画とする必要があった。

3. 課題解決に向けて工夫した点（解決策）

- ①河川環境の保全：現況河川と平行な縦断勾配とし滞筋を残す河床計画とすることにより、魚類等の移動の連続性に配慮した。また、利用可能な右岸既設堤防は活用し、左岸側は施工後に植生が再生する緑化型の大型連結ブロックを用いた護岸とすることで、右岸側の植生の保全及び左岸側の植生の再生により河川の生態系を保全する計画とした。
- ②支障物近接箇所の対処：主要地方道横手・東由利線と隣接する区間は、余裕高の部分のパラペット護岸として堤防断面を縮小することにより、河川内の敷地に収まる計画とした。



◆発注公所の所見

- ・本設計業務は、護岸築堤区間に神木や家屋があり、地元との調整により何度か線形や構造の変更を行ったが、臨機応変な対応がなされた
- ・また、支川への影響を把握するため、追加測量の提案がされており、業務の目的等を十分理解し精査検討されているため、精度の高い成果品となっている

◆業務概要

委 託 名	砥沢地区 地すべり防止業務委託 RE1112B101		
路河川名/地区名	砥沢地区		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請 負 額	33,319,080 円	種 別	土木設計業務（詳細設計）
代 表 者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	鈴木 聡		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	田村 宏一	調 査 員	村川 晋
工 期	平成28年5月23日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 一般調査業務 N=1式 2) 解析等調査業務 N=1式 3) 設計業務 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴 砥沢地すべりにおいて、既設地すべり計器の観測・データ整理を実施することにより地すべり挙動の監視・機構解明を行うとともに、実施された対策工の効果検証等を行った。また、住民の安全確保のために地区内に設置されている自動監視システムが作動した場合には地すべり挙動の確認を迅速に行うほか、システムの正常な作動を確保するための維持管理・更新作業を実施した。加えて、現在計画されている2号排水トンネル工の坑口工の調査・設計及び施工計画設計を行ったものである。

2. 業務項目ごとの実施結果
【既存地すべり計器の観測・データ整理結果・機構解明】

目的に応じて、分かり易く図表にとりまとめる工夫をした。図.1は、1号排水トンネル工効果発現状況として地下水位の低下状況をとりとまとめた例である。

【自動監視システム】定期点検の他に落雷等による作動時にも出来るだけ早く現地を点検し、誤作動であることを確認した。また、システムが老朽化してきたことより、施設の更新及び有線から無線形式への変更（コスト削減）のための監視カメラ動作試験等も提案して実施した。

【2号排水トンネル坑口工の調査・設計】調査ボーリングを実施し、その結果に基づいて切羽安定の補助工法を検討し、薬液注入工及び坑口工を設計した。

【2号排水トンネル工施工計画設計】1号排水トンネル工の実績を反映させると共に、改善すべき点は改善し、トンネル掘削・ズリだし、発破掘削、仮設備計画（送気・給水・排水・濁水処理・軌条・換気・電力・火薬庫・坑内仮設備・作業ヤード配置計画）等に関して設計した。

※多種多様の業務内容に対して、遅滞なく適切に対応した。



図.1 対策前後(H23とH28)融雪期の地下水低下量等高線図



写.1 2号排水トンネルの施工状況(H29.5.17)

◆発注公所の所見

- ・当該業務の対象となっている砥沢地すべり防止区域は、国内最大級の規模を有し、特にすべり面の最大深度が約165mと非常に深く、機構解析や設計等において、豊富な経験と高度な技術を要する難易度の高い業務となっている
- ・その業務において、過去の調査内容や現場状況を的確に把握し、迅速な対応、積極的な提案及び適正な成果品の作成に努められている

◆業務概要

委 託 名	災害査定調査費 公共土木施設災害調査設計業務委託 28-8003-Y1		
路河川名/地区名	内川ほか		
商号又は名称	株式会社共和技研		
請 負 額	4,957,200 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代 表 者	代表取締役 畠山 主税		
管理技術者	梅田 史郎		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 浩喜	調 査 員	藤枝 雅利
工 期	平成28年10月25日～ 平成28年12月22日	完成年月日	平成28年12月22日
概 要	1) 公共土木施設災害調査設計箇所 N=5箇所 2) 4級基準点測量 N=10点 3) 現地測量 A=0.004km ² 4) 路線測量 N=1式 5) 護岸詳細設計 N=1式 6) 道路詳細設計 N=1式 7) 一般構造物詳細設計 N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務は、平成28年10月9日の豪雨により被災した道路と河川の災害復旧に向けた調査設計業務である。道路災害は、路盤の流出によって舗装面に段差が生じ通行不可能な状況となっていた。また、河川災害は増水による水衝部での護岸崩壊が顕著となっていた。



2. 緊急対応策

本路線は、地域住民の生活道路、木材搬出道路として重要な路線である。通行止め区間の対岸に市道はあるが、住宅地を通り狭隘なため、大型車通行可能な仮道を検討し、交通及び地域住民の安全に配慮した。

3. 業務遂行上の課題と解決策

課 題→災害査定の前に応急本工事を実施する箇所については、納品まで2週間と作業期間が短いため、業務工程の調整が必要であった

解決策→当社は被災箇所と同地区で地域に精通しており、迅速に現地状況を把握して、早急に測量を先行し、完了した時点で必要な資料作成及び概略設計を行い、調査員と繰り返し協議を行った。その結果、手戻りなく当初工程より早い納品が可能となった。

課 題→仮道設置に向けた借地箇所の選定と協議

解決策→調査員、用地課と協議を行い、隣接する休耕田を借地する仮道を提案した。仮道の盛土下面には、撤去時の施工性の考慮及び水田へ盛土材が混入しないよう土木シートを敷設する工法を用いた。

◆発注公所の所見

- ・本業務は災害査定に向けた調査設計だが、通行止めの道路については、早期復旧のため応急本工事を実施する箇所であり、作業期間が短く難易度が高い業務だったが、発注者の意図を十分に理解し、遅延することなく業務完了させたことは高く評価できる
- ・河川の被災箇所についても被災原因を理解し、再度災害防止が計画されており、成果品の内容が良好であったため、災害査定では申請どおり採択されている

◆業務概要

委 託 名	河川環境調査（魚類等）業務委託 K375-Y1		
路河川名/地区名	斉内川		
商号又は名称	株式会社自然科学調査事務所		
請 負 額	6,289,920 円	種別	河川環境調査業務
代 表 者	代表取締役 鈴木 建一		
管理技術者	柴田 稔		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	藤谷 祐介	調 査 員	藤嶋 一史
工 期	平成28年5月16日～ 平成28年12月12日	完成年月日	平成28年12月12日
概 要	1) 河川環境調査（魚類等） N=1式		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務は、災害復旧事業及び関連事業において、保全または新たに創出すべき河川環境を抽出することを目的として、魚類の生息状況及び生息条件とともに、多様な環境を選好して生息する魚種毎の河川環境を把握することに努めて実施したものです。

2. 品質向上における独自の取り組み

斉内川災害復旧事業における多自然川づくりという特殊性、真木ダム関連での調査以来13年ぶりの調査であることを踏まえて、特記仕様書の要求事項である魚類等の生息状況・生息条件の把握について、単なる魚類調査でなく今後のモニタリングを念頭に、以下の調査を提案しながら実施したものです。

●魚類の生息状況や重要種の分布、魚類の遡上を阻害する障害物などを視覚的に分かり易く表現するため、概要図と瀬・淵、ワンドなどをまとめた河道環境図を作成した。

●魚類の存続に重要な産卵場について、これまで培った当社の知見で産卵場に適した環境を現況から推察して概要図に記載し、保全すべき河川環境であることを説明した。

●トミヨ属調査では、トミヨ属の有無とともにワンドの分布を確認し、斉内川橋より上流でトミヨ属の生息が少ないのは湧水の分布と密接に関連していることを説明した。

●調査精度の向上を図るため、学識者に調査計画及び結果の説明を行うとともに、同時に行われた多自然川づくり工法の解説については発注者とともに最新・最良の工法であることを説明し、了解を得ながら業務の遂行にあたった。

●魚道の改修にあたり、周辺に生息する魚種毎の体長や遊泳能力を整理し、魚道の設計流速と照合し、それぞれの能力毎に魚道タイプを分けることを提案した。



◆発注公所の所見

- ・業務内容を踏まえ、自社が保有する過去の調査結果、関係する調査文献を参考として、今後を見据えた調査を提案、実施する会社の姿勢は、本河川の今後の調査に大きく貢献するものとして評価できる

◆業務概要

委 託 名	仙北地域振興局管内橋梁定期点検業務委託 FI99-Y6		
路河川名/地区名	国道105号ほか		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	20,907,720 円	種別	橋梁点検業務
代 表 者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	橋本 優孝		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	米谷 博幸	調 査 員	望月 秋宏
工 期	平成28年7月15日～ 平成29年3月24日	完成年月日	平成29年3月24日
概 要	1) 橋梁点検 N=1式 橋長 50m未満 N=32橋 橋長 50m以上150m未満 N=11橋 橋長150m以上 N= 6橋		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務の特徴として、高規格道路の大曲西道路及びJR跨線橋等、幅員が広く桁高の高い橋梁が多く、通常の点検車では主桁間の床版下面及び上部工の近接目視が不可能な橋梁が多いことが挙げられます。そのため、コスト管理を意識した点検精度の向上が必要でした。

2. 業務実施における課題

- ①通常の点検車では近接目視不可橋梁の点検精度確保
（定期点検要領の変更による遠方目視不可に対する対応）
- ②大型点検車の採用に伴うコストアップの抑制
（機械損料等の点検業務コストアップの抑制）
- ③点検結果の早期報告
（点検対象橋梁の損傷状況の早期把握と維持管理計画への反映）
- ④今後の維持管理計画に反映させるための方策
（次回点検への提案と診断、補修設計等、橋梁維持管理サイクル構築への支援）



3. 課題解決に向けて気をつけた点・工夫した点

- ①通常使用される点検車 (BT200) よりも点検範囲が広く、高い桁高にも対応可能な機種 (BT400) での点検を提案し、全橋で近接目視による点検を可能としました。
- ②大型機種 (BT400) の採用に伴うコストアップの一方で、点検車の能力向上により点検期間、通行止め日数を低減し、コスト抑制を図りました。さらに、詳細な現地踏査により点検手法を検討し、高所作業車による桁下からの点検が可能な箇所を選定してコストダウンを図りました。
- ③点検後 1 週間以内に点検結果表を発注者に提出し、損傷状況の早期把握を可能にしました。
- ④県の橋梁管理システムにより、各部材ごとの健全度を点数化し、使用材料による上部工の損傷傾向をまとめるとともに、各橋梁の部材別健全度一覧表を作成し、補修工法、概算工費を提案して維持補修計画の参考資料となるようにしました。さらに、次回点検に向けて、本地区における点検の要着目ポイントを提案しました。

◆発注公所の所見

- ・大曲西道路やJR跨線橋等において、現地条件を的確に整理し、迅速に関係機関との協議・調整を行うとともに、自動車専用道路である大曲西道路では適切な交通規制を行うことにより、無事故且つ確実な橋梁点検が可能となった
- ・大型橋梁点検車の使用により、点検精度確保、通行止め日数の低減、コスト抑制を実現し、橋梁健全度・点検の要着目ポイント等を的確に整理したことが高く評価できる

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副知事	堀井 啓一
選考委員	総務部長	島崎 正実
〃	農林水産部長	佐藤 博
〃	建設部長	柴田 公博
〃	出納局長	佐藤 満

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設技監	小川 智弘
幹事	農地整備課長	能見 智人
〃	建設政策課長	智田 邦英
〃	技術管理課長	田口 郁夫
〃	技術管理監	千葉 久雄

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評価に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評価が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されてないこと。
- (5) 当該企業において労働災害がないこと。
- (6) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

- 第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。
- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。
 - 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
 - 4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表彰)

第6条 被表彰者は受託企業の代表のほか、その業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂

平成29年3月9日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P54の名簿参照のこと



高 質 な 田 舎
AKITAVISION

ユタカな国へ

あきた
びじょん
た

